

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-219	高 等 学 校	国 語	古 典 探 究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		

1. 編修の基本方針

● 教科書の理念

この教科書は、「教育基本法」「学校教育法」の規定や理念を踏まえ、特に以下の点に留意して編修しました。

- ①豊かな人間性・創造性を身につけさせる。
- ②平和で民主的な国家及び社会の形成者たる人物を育成する。
- ③社会において果たさなければならない使命を自覚させる。
- ④それぞれの個性に応じた進路を決定するのに必要な一般的な教養を高める。
- ⑤社会について、広く深い理解と健全な批判力を養う。
- ⑥社会の発展に寄与する態度を養う。

● 教材の選定と配列

教育基本法第2条の1～5号に示された教育の目標を達成するために必要な教材を精選して掲載しました。教材の選定と配列にあたっては、次のような点に意を用いました。

- ①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしました。
- ②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしました。
- ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができるようにしました。
- ④教材がたがいに有機的に繋がり、学習が進むにつれ、国語の資質および能力が的確に身についていくことを意識して教材を配列しました。
- ⑤「思考力・判断力・表現力」の「読むこと」に即した教材を選び、深く読む力を身に付けることができるようにしました。また言語活動例として「実践」を適宜設け、効果的に言語能力を高めることができるよう配列しました。

● 学習を支える工夫

各単元および教材を通じて、高校生の資質・能力を高め、主体的・対話的で深い学びへと導くために、次のような点に意を払いました。

- ①分冊型・二部構成の編集：多様化した指導の実態を考慮して「古文編」「漢文編」の二分冊とし、学習者の発達段階を考慮して両編とも、第一部・第二部に分けて、教材を配置しました。
- ①単元の目標：第一部・第二部の冒頭に、それぞれの単元を通じて身につけたい資質・能力を端的に示しました。
- ②視点：教材の冒頭に、身につけたい資質・能力について、教材の着目すべき点を掲げました。
- ③学習の手引き：教材の末尾に「理解」「表現」を設け、資質・能力を身につけるにあたって、教材のどのような点を活用することができるかを明示しました。
- ④実践：言語能力を高め、主体的・対話的で深い学びへと導く具体的な言語活動を適宜示しました。
- ⑤デジタルコンテンツ：学習に役立つデジタル・コンテンツを適宜用意いたしました。

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条第一号から第五号との対応を下記に示します。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
古文編・第一部		
1) 生き生きと描かれた人々 ——説話	説話文学を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができました。(第1号)	p12～19
2) 歌に思いを託す ——物語(一)	歌物語を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することができるようにしました。(第5号)	p20～39
3) 豊かな感受性、深まる思考 ——随筆(一)	「枕草子」などの随筆を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。(第2号)	p40～49
4) 人と人が織りなす世界 ——物語(二)	平安時代に書かれた物語を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p50～73
5) 体験を語る ——日記	平安時代に書かれた日記文学を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p74～83
6) 人と社会を見つめる ——随筆(二)	中世に書かれた随筆を通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第3号)	p84～99
7) 歴史を語る——物語(三)	歴史物語を通して、生命を尊ぶ態度を養うとともに、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することができるようにしました。(第4号、第5号)	p100～121
8) 身体とことば——芸能 《実践》芸能の中に生きる古典文学を味わおう	能などの伝統芸能を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することができるようにしました。(第4号、第5号)	p122～131
9) 定型の力——和歌・歌謡・連歌・俳諧	詩歌を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p132～152
古文・第二部		
1) 市井の人々の姿——説話	説話文学を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。(第2号)	p156～161
2) 宮廷社会に生きる——随筆	枕草子に描かれた宮廷社会を読むことを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p162～169

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
3) 長編の魅力——物語（一）	「源氏物語」などの長編物語を読むことを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することができるようにしました。（第5号）	p170～207
4) 自己を語る——日記	日記文学を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第2号）	p208～219
5) 文学を論じる——評論（一）	古典における文学評論を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。（第1号）	p220～229
6) 歴史を紡ぐ——物語（二）	歴史文学を学ぶことを通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第3号）	p230～251
7) 新たな表現を模索する——俳論・俳文	近世の俳論・俳文を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。（第1号）	p252～261
8) 近世の社会と人間——小説	近世に書かれた小説を通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第3号）	p262～271
9) 本質を探る——評論（二）	近世に書かれた評論文を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第2号）	p272～279
10) 文学の生まれる場所——伝承《実践》二つの伝承を読み比べて、表現の違いについて考えよう〈まとめ〉古文の表現	「日本書紀」「古事記」を読み比べ、また古文の表現の変遷をたどることを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することができるようにしました。（第5号）	p280～294
漢文編・第一部		
1) 創成と典故——故事成語	故事成語を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。（第1号）	p12～19
2) 生き方の表明——文章（一）	漢文の名文を通じて個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第2号）	p20～29
3) 韻文の表現——近体詩	漢詩を通じて伝統と文化を尊重し、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにしました。また、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第4号、第5号）	p30～37

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
4) 言動の記録——史伝	史伝を通して、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができました。(第3号)	p 38 ~ 53
5) 物語の創造——小説	漢文の小説を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p 54 ~ 61
6) 説得の技法——文章 (二)	「説」という文体を通して、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第3号)	p 62 ~ 71
7) 読み継がれる思想——儒家	儒家の思想を学ぶことを通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第3号)	p 72 ~ 84
漢文・第二部		
1) 評価する視点——故事成語	故事成語を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p 88 ~ 93
2) 主張と文体——文章 (一)	漢文で書かれた名文や日本で書かれた漢文の文章を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるとともに、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第1号、第5号)	p 94 ~ 105
3) 韻文の伝統——古体詩	古体詩を学ぶことを通して、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにしました。また、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号、第4号)	p106 ~ 119
4) 言動の真意——史伝	古代中国や日本で書かれた漢文の史伝を通して、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。また、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第3号、第5号)	p120 ~ 139
5) 物語の展開——小説 《実践》翻案による新たな世界観の創造を確認しよう	漢文の小説を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p140 ~ 151
6) 心情の表出——文章 (三)	漢文の名文を読むことを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p152 ~ 163

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
7) 思想の展開——諸子	諸子の思想を学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。また、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第2号、第3号)	p164～180

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・「言語文化」の学習内容の成果を発展拡充させて、「古典探究」でも豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うために、教材および「実践」などの言語活動におけるテーマや内容に意を用いました。(学校教育法第51条第一号)
- ・「実践」における言語活動および「読書案内」で紹介した書籍や、コラムを通して、社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させることに意を払いました。(学校教育法第51条第二号)
- ・複数の資料を比較して読むことにより、個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うようにしました。(学校教育法第51条第三号)
- ・教材にはユニバーサル・フォントを用いて、多くの人の読みやすい紙面づくりに配慮しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時間数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-219	高 等 学 校	国 語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則および「古典探究」に掲げられた目標を効果的に達成するために、特に以下の点に留意して編集しました。

- ①**育成したい資質・能力を明確化した単元構成** 単元ごとに「単元の目標」を示し、生徒が各単元を通じてどのような資質・能力を身につけることができるのか、見通しを立てたり、学習後の振り返りを行ったりすることができるようにしました。また、掲載した教材にはそれぞれ冒頭に「視点」を示し、各教材を通じて身につけたい「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」を意識的に学習できるようにしました。
- ②**発達段階に応じた教材を厳選** 生徒の心身の発達段階を十分に考慮して、「言語文化」からの移行が円滑にできるよう、親しみやすい教材から、古典文学へのより深い理解を促す教材まで厳選して掲載しました。また、教材として適度な長さで、なおかつ奥行きのある文章を選びすぎりました。
- ③**「主体的・対話的で深い学び」の実現を促す「実践」** 言語活動例として適宜「実践」を示し、「主体的・対話的で深い学び」を行うことができるようにしました。
- ④**学習者の自学自習に便利な工夫** 教材の理解を助けるために、脚問を付して、文脈や知識を的確に捉えることができるようにしました。また手引きとして「理解」「表現」を設け、教材の内容や目的を正確に捉えることができるようにしました。各見開きに重要古語（古文）・句法（漢文）を付し、生徒の知識を増やすことができるように工夫しました。
- ⑤**読書指導の充実** 「学びに向かう力、人間性」を支える工夫として、読書の意義を理解できるように適宜「読書案内」を設けました。
- ⑥**誌面の工夫** 全体に見やすいレイアウトとなるよう配慮するとともに、学習の効率化と活性化を図るために多色刷りを用い、必要な図版や地図などを適宜カラーで掲載しました。また、多くの生徒の読みやすさに配慮して、ユニバーサル・デザイン・フォントを用いました。
- ⑦**デジタル・コンテンツ** 学習を深める手立ての一つとして、教材に関するインターネット上の情報を適宜示し、二次元コードを用いて、情報を示したウェブページを掲載しました。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
古文編・第一部					
1) 生き生きと描かれた人々——説話	【宇治拾遺物語】袴垂、保昌にあふこと・獵師、仏を射ること 【古今著聞集】刑部卿敦兼の北の方	(1) ア, イ, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p12 ～ 19	4
2) 歌に思いを託す——物語 (一)	【伊勢物語】初冠・月やあらぬ・行く蛩・狩りの使ひ・渚の院・小野の雪・とみの文・つひにゆく 【大和物語】姨捨・鹿の声	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p20 ～ 39	4
3) 豊かな感受性、深まる思考——随筆 (一)	【枕草子】春は、あけぼの・野分のまたの日こそ・文ことばなめき人こそ・世の中になほいと心憂きものは・すさまじきもの・中納言参りたまひて・二月つごもりごろに <コラム> 敬語法	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p40 ～ 49	4
4) 人と人々が織りなす世界——物語 (二)	【堤中納言物語】虫めづる姫君 【落窪物語】落窪の君 【源氏物語】光源氏の誕生・飽かぬ別れ・麿院の怪・若紫の君	(1) ア, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p50 ～ 73	5
5) 体験を語る——日記	【更級日記】継母との別れ・源氏の五十余巻 【蜻蛉日記】嘆きつつ・道綱鷹を放つ	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p74 ～ 83	4
6) 人と社会を見つめる——随筆 (二)	【徒然草】大事を思ひ立たむ人は・世に語り伝ふること・筑紫にながしの押領使など・これも仁和寺の法師・九月二十日のころ・久しく隔たりて会ひたる人の 【方丈記】安元の大火・養和の飢饉	(1) ア, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p84 ～ 99	4
7) 歴史を語る——物語 (三)	【大鏡】雲林院にて・花山院の出家・公任、三船の誉れ・南の院の競射 【平家物語】忠度の都落ち・能登殿の最期 【太平記】千早城の戦い	(1) ア, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p100 ～ 121	4
8) 身体とことば——芸能	【風姿花伝】二十四、五 【難波土産】虚実皮膜の間 【謡曲】忠度 【実践】芸能の中に生きる古典文学を味わおう <コラム> 日本の芸能	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p122 ～ 131	4

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
9) 定型の力——和歌・歌謡・連歌・俳諧	万葉の歌・王朝の歌・中世の歌・〈参考〉【古今和歌集仮名序】やまとうたは／六歌仙・【水無瀬三吟百韻】表八句・近世の句 【おらが春】愛児さと	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p132 ～ 152	4
古文編・第二部					
1) 市井の人々の姿——説話	【今昔物語集】鷲にさらわれた赤子・賀茂の祭りを見物する翁	(1) ア, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p156 ～ 161	3
2) 宮廷社会に生きる——随筆	【枕草子】里にまかでたるに・上にさぶらふ御猫は	(1) ア, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p162 ～ 169	4
3) 長編の魅力——物語（一）	【源氏物語】車争ひ・心づくしの秋・母子の別離・暁の雪・萩のうは露・霧の中のかいま見・髪の香『源氏物語』の虚構（鈴木日出男）	(1) ア, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p170 ～ 207	5
4) 自己を語る——日記	【紫式部日記】土御門殿の秋・和泉式部と清少納言 【和泉式部日記】夢よりもはかなき世の中を 【建礼門院右京大夫集】なべて世の 【十六夜日記】関の藤川	(1) ア, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p208 ～ 219	5
5) 文学を論じる——評論（一）	【袋草紙】すき者たち 【俊頼髓脳】雨の名 【無名抄】おもて歌 【毎月抄】心と詞 【無名草子】紫式部	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p220 ～ 229	4
6) 歴史を紡ぐ——物語（二）	【大鏡】菅公配流・宣耀殿の女御・中宮安子の嫉妬・肝試し・道長、栄華への第一歩 【増鏡】後鳥羽院・隠岐配流	(1) ア, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p230 ～ 251	4
7) 新たな表現を模索する——俳論・俳文	【野ざらし紀行】千里に旅立ちて 【去来抄】行く春を・岩鼻や 【いそのはな】北寿老仙をいたむ 【鶉衣】奈良団扇	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p252 ～ 261	4
8) 近世の社会と人間——小説	【西鶴諸国ばなし】忍び扇の長歌 【雨月物語】浅茅が宿 〈コラム〉近世のことば	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p262 ～ 271	4
9) 本質を探る——評論（二）	【三冊子】不易流行 【玉勝間】師の説になづまざること 【源氏物語玉の小櫛】もののははれ論	(1) ア, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p272 ～ 279	4

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
10) 文学の生まれる場所——伝承	【古事記】倭建命 〈参考〉【日本書紀】日本武尊の死 【実践】二つの伝承を読み比べて、表現の違いについて考えよう 〈まとめ〉古文の表現 〈コラム〉上代のことば 〈読書案内〉	(1) ア, イ, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p280 ～ 294	5
漢文編・第一部					
1) 創成と典故——故事成語	画竜点睛（歴代名画記）・漱石枕流（世説新語）・知音（呂氏春秋）・病入膏肓（春秋左氏伝）・曳尾於塗中（莊子）・先從隗始（戦国策）	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p12 ～ 19	4
2) 生き方の表明——文章（一）	漁父辞（屈原）・桃花源記（陶淵明集）・春夜宴桃李園序（李白）	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p20 ～ 29	4
3) 韻文の表現——近体詩	獨坐敬亭山（李白）・登樂遊原（李商隱）・九月九日憶山東兄弟（王維）・芙蓉樓送辛漸（王昌齡）・楓橋夜泊（張繼）・野望（王績）・旅夜書懷（杜甫）・出穎口初見淮山、是日至壽州（蘇軾）・遊山西村（陸游）・聞旅雁（菅原道真）・即事（新井白石）・無題（夏目漱石）	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p30 ～ 37	5
4) 言動の記録——史伝	鴻門之會（史記）・四面楚歌（史記）・稻葉一徹（近古史談） 〈コラム〉中国の史書	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p 38 ～ 53	5
5) 物語の創造——小説	鶴之報恩（搜神記）・売鬼（搜神記）・王昭君（西京雜記） 〈参考〉「王昭君」（李白） 「王昭君」（大江朝綱） 「王昭君をよめる」（赤染衛門） 【実践】同じテーマの作品を比較し、それぞれの特徴を理解しよう	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p 54 ～ 61	4
6) 説得の技法——文章（二）	師説（韓愈）・捕蛇者説（柳宗元）・愛蓮説（周敦頤）	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 62 ～ 71	4
7) 読み継がれる思想——儒家	論語——それぞれの生き方・人無有不善（孟子）・四端（孟子）・性悪（荀子） 〈コラム〉性善説と性悪説 〈読書案内〉	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 72 ～ 84	4
漢文・第二部					
1) 評価する視点——故事成語	断腸（世説新語）・螻蛄の斧（莊子・淮南子）・愚公移山（列子）	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p 88 ～ 93	3

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
2) 主張と文体 ——文章 (一)	詩経大序 (詩経) 【参考】古今和歌集真名序 (古今和歌集) 【実践】文学論を比較し、共通点や相違点を論述しよう 論文 (曹丕)・五柳先生伝 (陶淵明)・前赤壁賦 (蘇軾)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p 94 ～ 105	4
3) 韻文の伝統 ——古体詩	桃夭 (詩経)・秋風辞 (武帝)・薤露 (楽府詩集)・ 飲酒 其五 (陶淵明)・送別 (王維)・漁翁 (柳宗元)・ 石壕吏 (杜甫)・長恨歌 (白居易) 〈コラム〉漢詩のきまり	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p106 ～ 119	5
4) 言動の真意 ——史伝	怒髪上衝冠 (史記)・勿頸之交 (史記)・【参考】廉 頗藺相如列伝論贊・国士無双 (史記)・信玄何在 (日 本外史) 〈コラム〉日本人の漢文	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p120 ～ 139	5
5) 物語の展開— ——小説	離魂記 (太平広記)・人面桃花 (本事詩)・杜子春 (太 平広記)・〈参考〉「杜子春」(抄) (芥川龍之介) 【実践】翻案による新たな世界観の創造を確認しよ う	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p140 ～ 151	4
6) 説得の技法— ——文章 (二)	前出師表 (諸葛亮)・与微之書 (白氏文集)・傷仲永 (王 安石)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p152 ～ 163	5
7) 思想の展開— ——諸子	無之用 (老子)・柔之勝剛 (老子)・混沌 (莊子)・ 無用之用 (莊子)・守業・嬰逆鱗 (韓非子)・兼愛 (墨 子)・〈参考〉足責 (墨子)・言と黙 (興膳宏) 〈コラム〉諸子百家	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p164 ～ 180	5

計 140

常用漢字表外の音訓一覧(数字は初出ページを示す。)

袴 <small>はかま</small>	垂 <small>たれ</small>	保昌 <small>やすまさ</small>	衣 <small>きぬ</small>	指貫 <small>さしぬき</small>	稜 <small>そば</small>	出 <small>い</small>	退 <small>の</small>	股 <small>もも</small>	希 <small>け</small>	失 <small>う</small>	字 <small>あざな</small>	消 <small>けし</small>	摂津 <small>せつづ</small>	守 <small>かみ</small>	藤原 <small>ふじわらの</small>	愛宕 <small>あたご</small>	聖 <small>ひじり</small>	飯 <small>いひ</small>	験 <small>しるし</small>
今宵 <small>こよひ</small>	候 <small>さぶら</small>	童 <small>わらは</small>	積 <small>しゃ</small>	衆生 <small>しゅじょう</small>	夜半 <small>よは</small>	刑 <small>ぎやう</small>	出 <small>いで</small>	牛 <small>ぎう</small>	掛 <small>かけ</small>	詞 <small>ことば</small>	橘 <small>たちばなの</small>	成 <small>なり</small>	季 <small>すえ</small>	勢 <small>せ</small>	初 <small>うひ</small>	冠 <small>かうぶり</small>	春日 <small>かすが</small>	往 <small>い</small>	陸奥 <small>みちのく</small>
誰 <small>たれ</small>	源 <small>みなもの</small>	融 <small>ととる</small>	東 <small>ひむがし</small>	后 <small>きさい</small>	本 <small>ほ</small>	訪 <small>ととら</small>	正月 <small>むつき</small>	去年 <small>こぞ</small>	良 <small>ら</small>	経 <small>つね</small>	高 <small>たかい</small>	良 <small>よし</small>	明 <small>あきらけい</small>	仁 <small>にん</small>	后 <small>きさき</small>	入 <small>じゅ</small>	傾 <small>かたぶ</small>	風 <small>ぶ</small>	六月 <small>みなづき</small>
齋宮 <small>いっきのみや</small>	朝 <small>あした</small>	子 <small>ね</small>	外 <small>と</small>	寝 <small>ぬ</small>	率 <small>ひ</small>	歩 <small>あり</small>	頭 <small>かみ</small>	張 <small>はり</small>	後朝 <small>きぬぎぬ</small>	縁 <small>えにし</small>	松明 <small>たいまつ</small>	続 <small>ついで</small>	御 <small>おほん</small>	女 <small>むすめ</small>	親王 <small>みこ</small>	貞観 <small>じょうがん</small>	水 <small>み</small>	馬頭 <small>うまのかみ</small>	交 <small>かた</small>
保 <small>ぼ</small>	在原 <small>ありわらの</small>	業 <small>なり</small>	紀 <small>きの</small>	有 <small>あり</small>	仁 <small>ひと</small>	乙訓 <small>おとくに</small>	枚 <small>ひら</small>	御酒 <small>みき</small>	年 <small>とせ</small>	河内 <small>かわち</small>	槻 <small>つき</small>	翁 <small>おきな</small>	三月 <small>やよひ</small>	御 <small>み</small>	髮 <small>ぐし</small>	十二月 <small>しはす</small>	書 <small>がき</small>	捨 <small>すて</small>	信濃 <small>しなの</small>
(12)	(15)	(15)	(15)	(15)	(16)	(18)	(18)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)	(20)	(20)	(20)	(20)	(21)	(21)
(21)	(21)	(21)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(22)	(23)	(23)	(24)
(25)	(25)	(25)	(25)	(26)	(26)	(26)	(26)	(26)	(26)	(26)	(26)	(27)	(27)	(27)	(27)	(27)	(28)	(28)	(28)
(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	(29)	(30)	(30)	(30)	(31)	(31)	(31)	(31)	(33)	(34)	(35)	(35)

炭 (44) 児 (44) 網 (44) 衆 (43) 主 (42) 母 (41) 朽 (41) 女郎花 (41) 裁 (41) 前 (41) 垣 (41) 透 (41) 立 (41) 分 (41) 然 (39) 妻 (39) 答 (38) 曲 (35) 冠 (35) 悪 (35) 更級 (35)

思 (51) 籠 (50) 按察使 (50) 為手 (49) 実 (48) 掌侍 (48) 督 (48) 衛 (48) 侍 (48) 俊賢 (48) 頼忠 (47) 公任 (47) 主殿司 (47) 周 (46) 隆 (46) 上達部 (45) 陰 (44) 芳 (44) 前駆 (45) 司 (44) 違 (44)

帝 (58) 唐土 (58) 光 (58) 継母 (57) 舍人 (57) 春宮 (57) 帯刀 (57) 近衛 (56) 蔵人 (56) 寝 (55) 暇 (55) 当腹 (55) 後 (55) 乳母 (55) 児 (54) 君達 (54) 放出 (54) 御達 (54) 大君 (54) 中 (52) 蝸牛 (52)

男 (66) 位 (65) 頭 (65) 宿直 (65) 半 (63) 旨 (63) 御息所 (62) 取 (61) 馬 (61) 打 (61) 参 (61) 隙 (60) 局 (60) 皇女 (60) 殿 (59) 朱雀 (59) 軽 (59) 容貌 (59) 皇子 (59) 前 (59) 抛 (59)

上総 (74) 孝標 (74) 為 (73) 消息 (72) 齡 (72) 髮 (71) 汗衫 (70) 襲 (70) 単衣 (70) 伏 (70) 君 (70) 女子 (70) 吹 (70) 都 (69) 例 (68) 大臣 (68) 怪 (67) 長押 (67) 内裏 (66) 朝臣 (66) 光 (66)

特 (87) 双 (85) 来 (85) 財 (85) 徒然 (84) 逸 (82) 戯 (82) 明後日 (81) 西 (80) 小 (80) 十月 (79) 九月 (79) 兼 (79) 倫寧 (78) 介 (78) 真 (78) 句 (77) 浮 (77) 法華経 (77) 太秦 (76) 枝 (75)

魚 (97) 数 (96) 会 (95) 大炊 (95) 倒 (95) 現 (95) 西北 (94) 東南 (94) 四月 (94) 四十 (94) 好 (93) 才 (93) 案 (91) 医師 (89) 帷子 (89) 醉 (89) 和 (89) 兵 (88) 館 (88) 筑紫 (88) 不 (87)

望 (102) 者 (102) 三十 (102) 大宅 (101) 丸 (101) 太政 (101) 通 (100) 師 (100) 繁樹 (100) 黄泉 (100) 面 (100) 継 (100) 先 (100) 雲 (100) 路 (99) 賀 (98) 首 (98) 濁 (98) 丹 (98) 乏 (98) 築地 (98)

朝 (111) 度 (111) 猛 (111) 理 (111) 祇園精舎 (111) 故 (110) 中心 (110) 権 (109) 帥 (109) 公任 (107) 者 (106) 光 (105) 破 (105) 懐 (104) 行成 (103) 教 (103) 出 (103) 甲申 (103) 祖父 (103) 冷泉 (102) 丙申 (102)

敵物 (115) 直垂 (115) 入 (115) 下関 (115) 長門 (115) 神戸 (115) 範 (115) 能登 (115) 大江 (113) 甲 (113) 平 (112) 略 (112) 別 (112) 落人 (112) 位 (112) 維 (111) 知 (111) 宗 (111) 重 (111) 清盛 (111) 義 (111)

勝すぐ (120) 以も (120) 合あはせ (120) 双六すごろく (120) 止とど (120) 遺や (120) 随したが (120) 比たと (120) 軍いくさ (119) 左衛ざえ (119) 成しげ (119) 流る (119) 隱岐おき (119) 死途しで (118) 馬手めて (118) 弓手ゆんで (118) 剛かう (117) 実康さねやす (117) 安芸あき (117) 札さね (115) 長刀ながなた (115)

蔵かく (127) 冊じやく (127) 公達きんだち (127) 澄ずみ (127) 岡部おかべ (127) 賜た (126) 空むな (126) 古いにしへ (126) 真じん (125) 虚うそ (124) 膜にく (124) 積づみ (124) 難波なには (124) 直すぐ (123) 申さる (123) 形なり (122) 実まこと (120) 番つがい (120) 足利尊氏あしがたかうじ (120) 景かげ (120) 間あはひ (120)

天皇すめろぎ (132) 生あ (132) 傍び (132) 朝臣あそみ (132) 柿本かきのもと (132) 過よき (132) 近江あふみ (132) 熟にき (132) 王おほきみ (132) 額田ぬかたの (132) 暫しばらく (131) 真似まね (131) 阿お (131) 出雲いずも (131) 傾かぶ (131) 義太夫ぎだゆう (131) 縛しばり (130) 次つぐ (130) 入にっ (129) 弔と (128) 主あるじ (128)

八十やそ (134) 宇合うまかい (133) 家持やかもち (133) 種くさ (133) 百もも (133) 娘子をとめ (133) 鶴たづ (133) 辺へ (133) 宿禰すくね (133) 部べの (133) 幸いでま (133) 驗しるし (133) 人と (133) 伴とも (133) 大幸ださい (133) 臣おみ (133) 幸さい (133) 海人あま (132) 霧き (132) 生お (132) 尊みこと (132)

魂たま (138) 御手洗みたらし (138) 実さね (138) 和泉いづみ (138) 陸奥みちの (138) 伏ふし (137) 行ゆき (137) 野つけの (137) 太政大臣おほきおほいまうちぎみ (137) 物ものの (137) 吉よし (136) 是則これのり (136) 水門みなと (135) 御息所みやすんどころ (135) 貫之つらゆき (135) 寛平かんくわびやう (135) 旋頭せじう (134) 遠江ととおうみ (134) 影かご (134) 布にの (134) 防人さきもり (134)

中なかの (147) 縫ぬい (145) 河かわの (145) 友とも (145) 衣通そとほり (145) 秀ひで (145) 屋やの (145) 城ぜい (144) 女をうな (144) 武士もののふ (144) 地つち (144) 蛙かはづ (144) 万よろづ (144) 雅まさ (143) 具とも (143) 式しよく (141) 鳥羽とば (140) 家いへの (140) 恒つね (139) 凡おおし (139) 現うつつ (139)

成せい (159) 札ふむだ (159) 宿すく (158) 父ぶ (158) 違たが (158) 宿人やどりうど (157) 奪ば (157) 父母ふも (156) 七美郡しつみのこほり (156) 但馬たじまの (156) 今昔こんじゃく (156) 尿しと (152) 団扇うちば (152) 迎ごう (151) 早さ (151) 守も (151) 俳優わざをぎ (150) 昨年こぞ (150) 池いけ (147) 水内みのち (149) 与謝よさ (148)

三四日みかよか (166) 膳もの (166) 頭弁しづのべん (166) 命婦みやうぶ (165) 扇あふ (164) 般若はんにや (163) 忌いみ (163) 結けち (163) 布め (163) 信のぶ (162) 斉ただ (162) 政まさ (162) 濟なり (162) 内蔵くら (160) 蔵くら (160) 孫むまご (158) 仕つかうまつ (160) 院司いんのつかさ (160) 刀と (160) 祖おや (159) 別雷わけいかづち (159)

兄弟はらから (176) 方も (176) 庄しょう (175) 摘つむ (175) 鑑かがみ (175) 家けい (175) 生いき (173) 後しり (172) 筒どう (172) 副車ひとだまひ (172) 狩野かのう (171) 表うわ (171) 強こは (171) 網代あむじろ (170) 妃きさき (170) 条じょう (170) 赦ゆる (168) 昨夜よべ (168) 手水てうづ (167) 右近うこん (164) 御厠人みかはやうど (166)

大殿油おほとなぶら (197) 験げん (197) 修ず (197) 腕かひな (196) 明あ (193) 霧き (193) 法のり (190) 処ところ (186) 怖お (186) 務つかさ (185) 衣ぞ (182) 離が (182) 天兒あまがつ (181) 御佩刀みはかし (181) 明石あかし (178) 仏ぶつ (177) 积さ (177) 直衣なほし (177) 偶たまたま (176) 看み (176) 続しよく (176)

堤^で (220) 柄^ら (220) 節^{とき} (220) 帯^{たち} (220) 長^{をき} (220) 神戸^{ごうど} (218) 駅^{うまや} (217) 縫^{ぬひ} (217) 美濃^{みの} (217) 十六夜^{いざよひ} (217) 被^{かぶ} (215) 資^{すけ} (215) 夫^ぶ (215) 貞^{さだ} (214) 致^{むね} (214) 遣^{やり} (208) 宣^{のり} (205) 居^{おり} (205) 横川^{よかわの} (199) 総角^{あげまき} (198) 煙^{けぶり} (198)

番^{つが} (243) 座^{くら} (242) 申^ま (241) 従者^{ずさ} (241) 極^{ごく} (241) 塗籠^{ぬりごめ} (241) 仁寿^{じじゆう} (241) 職^{しき} (238) 土器^{かはらけ} (237) 世^ぜ (233) 山^{やまの} (233) 駅^{むまや} (231) 訓^{くに} (231) 子^じ (231) 東風^{こち} (231) 善^{よし} (230) 是^{これ} (230) 学^{がくの} (230) 起^{おき} (229) 候^{さうら} (226) 術^{ずち} (220)

蒲公^{たんぽぽ} (258) 膳所^{ぜんぜ} (256) 真^{まこと} (255) 歳^{とし} (254) 発^た (253) 性^{さが} (253) 逆^{げき} (253) 是^こ (252) 却^{かへ} (252) 憶^{おも} (252) 復^ま (252) 適^ゆ (252) 遠^{おち} (251) 住^{すみ} (250) 直^{とのみ} (250) 詩^{しい} (249) 修^す (249) 幸^{ゆき} (248) 増^{ます} (248) 御殿^{おとど} (246) 副^ぞ (244)

旧^{もと} (266) 足^あ (266) 下総^{しもとうま} (266) 例^{ためし} (264) 店^{だな} (264) 麻布^{あざふ} (263) 切^{きり} (263) 常^{ただ} (263) 半女^{はした} (263) 伝^{つて} (262) 挟^{はさみ} (262) 真^{ほん} (262) 魂^{だま} (262) 鶴^{かく} (262) 張^{わり} (261) 般^{つら} (261) 少^{わか} (260) 公界^{くがい} (260) 菅^{すげ} (258) 竹^{ざさ} (258) 雉子^{きぎす} (258)

勝^{かつ} (274) 四^{しい} (273) 質^{つき} (272) 服部^{はつとり} (272) 冊^{ざう} (272) 読^{よみ} (269) 夜^{よべ} (269) 墳^{つか} (269) 鬼^{もの} (269) 踏所^{ふみど} (268) 埋^{うづ} (268) 薄^{すすき} (268) 京^{みやこ} (268) 実^む (267) 全^{また} (267) 夫^{をとこ} (267) 故^{もと} (267) 眼^{まみ} (267) 他^{こと} (267) 灯^{ともし} (267) 葛飾^{かつしか} (266)

我^あ (280) 比売^{ひめの} (280) 拜^{をろが} (280) 朝廷^{みかど} (280) 参入^{まゐ} (280) 尋^{ひろ} (280) 祖^{おや} (280) 吉備^{きび} (280) 頻^し (280) 天皇^{すめらみこと} (280) 命^{みこと} (280) 建^{たけるの} (280) 料^{しろ} (278) 泥^{ひぢ} (278) 書^{ふみ} (278) 予^よ (277) 情^{こころ} (277) 鈴^{すずの} (276) 経^ふ (275) 意^{こころ} (274) 古典^{いにしへづみ} (274)

思^{しの} (283) 能煩野^{のぼの} (283) 常陸^{ひたち} (282) 走^{はしり} (282) 烧津^{やいづ} (282) 誉^ほ (282) 烧^た (282) 新治^{にひばり} (282) 甲斐^{かひ} (282) 号^{なづ} (282) 食^を (282) 烧遺^{やきつ} (282) 退^そ (282) 御刀^{みはかし} (282) 大蛇^{おろち} (281) 男^{おの} (281) 造^{みやつこ} (281) 相模^{さがむ} (281) 姓^{かばね} (280) 相模^{さがみ} (280) 我^{あれ} (280)

天朝^{みかど} (285) 命^{おほみこと} (285) 臣^{やつかれ} (285) 申^{まを} (285) 奏^{まを} (285) 武^{たけ} (285) 備^{びの} (285) 吉^き (285) 神^{かむ} (285) 小竹^{しの} (284) 野老^{ところ} (284) 吹^{ぶき} (283) 受^ず (283) 駅^{はゆま} (283) 崩^{かむあが} (283) 嬢子^{をとめ} (283) 我家^{わぎへ} (283) 華^ず (283) 白^か (283) 平群^{へぐり} (283) 隠^{こも} (283)

群臣^{まへつきみ} (286) 化^な (286) 葬^{はぶ} (286) 勢^{せの} (285) 命^{みことおほ} (285) 百寮^{もものつかさ} (285) 群卿^{まへつきみ} (285) 年^{みとし} (285) 崩^{かむあが} (285) 亡^う (285) 復命^{かへりごとまを} (285) 甲^{よろひ} (285) 調^{にぎ} (285) 自^{おの} (285) 伏^{した} (285) 頼^よ (285) 威^{みいきほひ} (285) 皇^{おほきみ} (285) 被^{かがふ} (285) 恩^{めぐみ} (285) 征^う (285)

括^{くくり} (296) 帽^ぼ (296) 表^{うへの} (296) 裾^{きよ} (296) 宣邦^{のぶくに} (294) 堀^{ほつ} (294) 益^{ます} (294) 和^{かず} (294) 信^{まこと} (294) 三^{ぞう} (292) 六^{りつ} (289) 武部^{たけるべ} (286) 功名^{いさをしきみな} (286) 衣冠^{みそみががふり} (286) 鳥^{とりの} (286) 旧市^{ふるいちの} (286) 河内^{かふち} (286) 弾^{ひき} (286) 使者^{つかひ} (286) 留^{とど} (286) 視^み (286)

紅葉 (316) 空 (316) 狭 (313) 景 (312) 愛 (311) 猛 (309) 愛 (308) 畏 (308) 斎 (307) 如月 (301) 未 (300) 弟 (300) 兄 (300) 水 (300) 金 (300) 土 (300) 火 (300) 木 (300) 円座 (298) 宿 (298) 表 (296)

能 (319) 前 (319) 足 (319) 夢 (318) 習 (318) 早 (318) 椎 (318) 居 (317) 五十日 (317) 梅 (317) 行幸 (317) 少女 (317) 標 (317) 散 (316) 賢 (316) 花 (316)

常用漢字表外の音訓一覧(数字は初出ページを示す。)

若じょ (14) 方あ (14) 字あざな (13) 所以ゆゑん (13) 可べ (13) 当まさへ (13) 少わか (13) 枕ちん (13) 見げん (12) 眼め (12) 未いま (12) 騰をど (12) 須しゆ (12) 為な (12) 以も (12) 即すなは (12) 每つね (12) 不ず (12) 画ゑが (12) 竜りよう (12)

即つ (18) 従よ (18) 先ま (18) 将まさ (17) 留とど (17) 寧むし (17) 者は (17) 蔵をさ (17) 累わづら (17) 往ゆ (17) 不ぎ (16) 若何いかん (16) 居を (16) 未いま (15) 為をさ (15) 疾やまひ (15) 為ため (14) 以為おも (14) 復ま (14) 湯しやう (14)

醒さ (20) 清す (20) 与や (20) 非あら (20) 行ゆく (20) 父ほ (20) 見ら (19) 誠も (19) 習じゆ (18) 是こ (18) 市か (18) 能よ (18) 況いは (18) 对こた (18) 安いづ (18) 反かへ (18) 能あた (18) 古いにしへ (18) 将まさ (18) 卑ひく (18)

還かへ (24) 要むか (24) 具つぶ (24) 如ごと (24) 交まじ (24) 属たぐひ (24) 便すなは (23) 前す (23) 異あや (23) 中うち (23) 路みち (23) 溪たに (23) 縁よ (23) 与とも (22) 遂つひ (22) 濯あら (22) 弹はじ (21) 令し (20) 与と (20) 見れ (20)

為た (28) 召まね (27) 以ゆゑ (27) 良まこと (27) 何ばく (27) 逆げき (27) 夫そ (27) 尋つ (26) 規はか (26) 随したが (26) 詣いた (26) 誌しる (26) 向さき (26) 扶よ (26) 道い (25) 語つ (25) 停とど (25) 延ひ (25) 是こ (25) 出い (25)

若^も (34) 煙^{かすみ} (33) 岡^{かう} (33) 休^や (32) 応^{まさへ} (32) 何^{いづ} (32) 到^{いた} (31) 少^か (31) 遍^{あまね} (31) 処^{ところ} (31) 倍^{ますます} (31) 每^{ごと} (31) 憶^{おも} (31) 好^よ (30) 適^{かな} (30) 兩^{ふた} (30) 看^み (30) 閑^{しづ} (30) 依^よ (29) 如^も (29) 轉^{うた} (29)

止^{とど} (43) 何如^{いかん} (42) 則^{すなは} (42) 虜^{とりこ} (42) 不者^{しからず} (42) 且^{まさし} (42) 若^{なんぢ} (42) 起^た (42) 者^{こと} (41) 数^{しばしば} (41) 今者^{いま} (41) 意^{おも} (41) 然^{しか} (41) 姬^き (39) 尽^{ことごと} (39) 見^{まみ} (38) 等^ら (38) 煎^に (36) 真^{まこと} (36) 菅原^{すがわらの} (36) 閑^{しづ} (34)

騎^の (45) 下^{もと} (45) 操^と (45) 方^{まさ} (45) 如今^{いま} (45) 奈何^{いかん} (44) 平^{へい} (44) 如^ゆ (44) 窃^{ひそ} (44) 耳^{のみ} (44) 続^{しよく} (44) 故^{こゝろ} (44) 敢^あ (44) 勝^た (43) 覆^ふ (43) 賜^{たま} (43) 為^す (43) 視^み (43) 披^{ひら} (43) 側^{そば} (43) 内^い (43)

将^も (52) 肯^あ (52) 朝^{あした} (52) 呼^あ (52) 頓^{にはか} (52) 豊臣^{とよとみ} (51) 詳^{つまび} (51) 信^{のぶ} (51) 守^{かみ} (51) 予^よ (51) 降^{くだ} (50) 頭^{かうべ} (50) 購^{あがな} (50) 縦^{たと} (49) 亡^{ほろ} (49) 泣^{なみだ} (48) 蓋^{おほ} (48) 為^{つく} (48) 馬^め (48) 間^ま (45) 度^{はか} (45)

囟^{ゑが} (57) 径^{ただ} (56) 索^{もと} (56) 呼^{さけ} (56) 執^{とら} (56) 著^つ (56) 習^な (55) 作^な (55) 遇^あ (55) 是^か (55) 略^{ほぼ} (55) 将^は (55) 逡^{かは} (55) 太^{はなは} (55) 宛^{ゑん} (55) 誰^{たれ} (55) 双^{ふた} (54) 鶴^{かく} (54) 曾^{かつ} (54) 通^つ (53) 辺^{ほとり} (52)

六^{りく} (65) 如^し (64) 羞^は (64) 若^し (64) 遺^{わす} (63) 不^{しからず} (63) 彼^か (63) 挾^{えら} (63) 益^{ますます} (63) 猶^な (63) 庸^{なん} (62) 固^{もと} (62) 終^{つひ} (62) 受^{さつ} (62) 奉^{つかまつ} (59) 腸^{こころ} (59) 泣^{なくなく} (59) 粧^{よそほ} (59) 更^か (58) 上^{しやう} (58) 肯^{がへ} (57)

夫^か (69) 信^{まこと} (69) 觀^み (69) 後^{おく} (68) 蓋^{けだ} (68) 齒^{よはひ} (68) 食^{やしな} (68) 尚^な (68) 缶^ふ (68) 寧^{やす} (68) 籍^し (67) 自^よ (67) 更^{あらた} (67) 壞^え (66) 幾^{ほとん} (66) 嗣^つ (66) 歲^{とし} (66) 肌^き (66) 沈^{しん} (65) 清^{しん} (65) 拘^{かかは} (65)

賊^{そこ} (79) 由^よ (78) 惡^{にく} (78) 要^{もと} (78) 運^{めぐ} (78) 行^や (77) 下^{ひく} (76) 諸^{これ} (76) 猶^{なごと} (76) 行^さ (74) 芸^{くさぎ} (74) 荷^{にな} (74) 易^か (73) 施^{うつ} (72) 伐^{ほこ} (72) 衆^{おほ} (70) 宜^{むべ} (70) 鮮^{すくな} (70) 植^た (70) 淨^{きよ} (70) 来^{このかた} (70)

廻^{めぐ} (90) 却^{しりぞ} (90) 達^{みちび} (89) 時^{はか} (89) 決^さ (89) 幾^{あやふ} (89) 便^{すなは} (88) 跳^{をど} (88) 秀^{ひで} (84) 康^{やすし} (84) 雅^{まさ} (84) 道^{みちび} (82) 必^{かなら} (82) 將^{なら} (82) 順^{したが} (81) 偽^ゐ (81) 事^{つか} (80) 保^{やす} (80) 然^も (79) 充^み (79) 抃^{ひろ} (79) 凡^{おほ} (79)

発^{おこ} (96) 生^な (96) 遷^{うつ} (96) 発^{ひら} (96) 託^つ (96) 望^{もち} (96) 経^{をさ} (95) 困^{くる} (94) 哀^{かな} (94) 怨^{うら} (94) 形^{あらは} (94) 陰^{みなみ} (93) 何^{いか} (92) 若^か (92) 固^{まこと} (92) 毀^{こぼ} (92) 壞^{つち} (92) 墾^{ひら} (92) 尾^{すゑ} (92) 曾^{すなは} (92) 雜^{みな} (91) 懲^{くる} (91)

若^か (101) 富^{ふう} (101) 己^{おの} (100) 娯^{たの} (100) 空^{むな} (100) 造^{いた} (100) 何許^{いづこ} (100) 自^{おの} (99) 見^{あらは} (99) 斉^{ひと} (98) 均^{ひと} (98) 力^{つと} (98) 唯^た (98) 尚^{たつと} (98) 宜^{よろべ} (98) 忠^{ただ} (96) 生^{ぶの} (96) 恒^{つね} (96) 凡河内^{おおしこうちの} (96) 紀^{きの} (96) 宜^{よろ} (96)

逐^お (109) 然^た (109) 傍^そ (109) 佳^よ (108) 采^と (108) 濟^{わた} (107) 歡^{よろこ} (107) 帰^{とつ} (106) 舍^お (104) 夫^{かな} (104) 長^{とこしへ} (104) 挾^{わきばさ} (104) 鹿^{ろく} (104) 上^{ほとり} (104) 者^{ところ} (103) 予^わ (103) 頃^{けい} (102) 縦^{ほしいまま} (102) 少^{しば} (102) 属^{すずめ} (102) 徐^{おもむ} (102)

未^び (115) 信^{まか} (115) 転^{うつ} (115) 旋^{めぐ} (115) 少^{まれ} (115) 驚^{けい} (114) 動^{どよも} (114) 列^{つら} (114) 罷^や (114) 度^{わた} (113) 帳^{とぼり} (113) 承^う (113) 扶^{たす} (113) 洗^{そそ} (113) 側^{かたはら} (113) 棄^す (113) 識^し (113) 女^{むすめ} (113) 且^{しばら} (110) 詞^{ことば} (110) 看^み (110)

貪^{たん} (122) 均^{くら} (121) 不^{いな} (120) 予^{あた} (120) 完^{まった} (120) 和^か (120) 衝^つ (120) 入^{にっ} (119) 期^{とき} (118) 会^{かなら} (118) 睡^{ねむ} (117) 聞道^{きくなら} (117) 差^し (117) 参^{しん} (117) 電^{いなづま} (116) 奔^{はし} (116) 排^{ひら} (116) 教^し (116) 挑^{かか} (116) 梨^り (116) 掃^{はら} (116)

寛^{ゆる} (128) 念^{おも} (128) 顧^た (128) 孰与^{いづ} (128) 宣^の (128) 匿^{かく} (127) 素^{もと} (127) 徒^た (127) 好^{よしみ} (124) 伐^う (124) 亡^に (124) 衣^き (124) 負^{そむ} (124) 決^{かなら} (124) 舍^{やど} (124) 齋^{ものいみ} (124) 上^{たてまつ} (123) 詳^{やう} (123) 急^{せま} (123) 何者^{なん} (122) 以為^{おも} (122)

送たが (136) 親みづか (136) 信濃しなの (136) 晩おそ (135) 脱まぬか (134) 計かぞ (134) 将ひき (134) 附ぶ (134) 特た (133) 属しよく (133) 廢ふ (133) 良や (133) 料はか (132) 邪や (132) 郷む (132) 具そな (132) 素も (132) 拝さつ (132) 事もち (131) 詐いつは (131) 信の (129)

寡すく (140) 成なる (139) 謝さ (139) 襄のほる (138) 芸き (138) 安あ (138) 創きず (138) 中あ (138) 暇いとま (137) 乱わた (137) 横よこ (137) 行ゆく (137) 晴はる (136) 曲くま (136) 甲か (136) 北ほう (136) 武たけ (136) 景かげ (136) 越えち (136) 径へ (136) 潜ひそ (136)

比日このころ (145) 適とつ (145) 偶たまたま (145) 故もと (145) 畝せ (144) 畝ぼ (144) 備つぶさ (143) 喪ほろ (142) 促すみ (142) 首はじ (142) 独身ひとり (142) 顔かんばんせ (141) 向いた (141) 上の (140) 陰ひそ (140) 遣や (140) 可き (140) 私ひそ (140) 妻めあは (140) 美うるは (140) 亡うしな (140)

転まろ (150) 健けな (150) 仰おつしや (149) 緊かた (149) 階きざはし (149) 暫しばら (149) 効いた (149) 壞くず (149) 容い (148) 向使もし (148) 息や (148) 撲う (148) 徒いたづ (147) 憾うら (147) 积と (147) 敵かな (147) 活い (146) 某それがし (146) 祝いの (146) 股もも (146) 首こうべ (146)

卒つひ (162) 称かな (162) 就な (161) 世よよ (161) 把と (159) 信まか (159) 弥わた (159) 動や (159) 周めぐ (158) 株しゆ (158) 美うま (158) 頃このころ (157) 同とも (157) 涉わた (157) 闇あん (156) 賭み (156) 白まう (155) 彰あら (154) 庶こひねが (153) 值あ (152) 母か (150)

革^{あらた} (184) 抑^{そもそも} (183) 看^{みすみす} (183) 疾^{はや} (178) 徐^{ゆる} (178) 希^{まれ} (175) 処^を (175) 暗黒^{くらき} (174) 生命^{いのち} (174) 万^{よろず} (174) 言^{ことば} (173) 太初^{はじめ} (173) 誉^ほ (171) 幾^{ちか} (169) 陳^の (168) 蓄^{やしな} (168) 説^{よろこ} (168) 寝^い (168) 昔者^{むかし} (168) 側^{はか} (167)

出典一覽表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次	
12～14	袴垂、保昌にあふこと[宇治拾遺物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	50	89～91		小学館	1996年
15～17	獵師、仏を射ること[宇治拾遺物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	50	267～269		小学館	1996年
18～19	刑部卿敦兼の北の方[古今著聞集]	国語教材	日本古典文学大系	84	252～253		岩波書店	1976年
20～21	初冠[伊勢物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	12	113～114		小学館	1994年
22～23	月やあらぬ[伊勢物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	12	115～116		小学館	1994年
24	行く螢[伊勢物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	12	152～153		小学館	1994年
25～27	狩りの使ひ[伊勢物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	12	172～174		小学館	1994年
28～30	渚の院[伊勢物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	12	183～186		小学館	1994年
31～32	小野の雪[伊勢物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	12	186～187		小学館	1994年
33	とみの文[伊勢物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	12	187～188		小学館	1994年
34	つひにゆく[伊勢物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	12	216		小学館	1994年
35～37	姨捨[大和物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	12	391～392		小学館	1994年
38～39	鹿の声[大和物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	12	394～395		小学館	1994年
40	春は、あけぼの[枕草子]	国語教材	新編日本古典文学全集	18	25～26	清少納言	小学館	1997年
41	野分のまたの日こそ[枕草子]	国語教材	新編日本古典文学全集	18	327～328	清少納言	小学館	1997年
42	文ことばなめき人こそ[枕草子]	国語教材	新編日本古典文学全集	18	375～376	清少納言	小学館	1997年
43	世の中になほいと心憂きものは[枕草子]	国語教材	新編日本古典文学全集	18	380	清少納言	小学館	1997年
44～45	すさまじきもの[枕草子]	国語教材	新編日本古典文学全集	18	58～61	清少納言	小学館	1997年
46	中納言参りたまひて[枕草子]	国語教材	新編日本古典文学全集	18	196	清少納言	小学館	1997年
47～48	二月つごもりごろに[枕草子]	国語教材	新編日本古典文学全集	18	209～210	清少納言	小学館	1997年
49	敬語法	国語教材						編集委員会による書き下ろし
50～53	虫めづる姫君[堤中納言物語]	国語教材	新日本古典文学大系	26	20～22、23～24		岩波書店	1992年
54～57	落窪の君[落窪物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	17	17～21		小学館	2000年
58～61	光源氏の誕生[源氏物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	20	17～20	紫式部	小学館	1994年
62～64	飽かぬ別れ[源氏物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	20	21～24	紫式部	小学館	1994年
65～68	廢院の怪[源氏物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	20	164～168	紫式部	小学館	1994年
69～73	若紫の君[源氏物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	20	205～209	紫式部	小学館	1994年
74～75	継母との別れ[更級日記]	国語教材	新潮日本古典集成 更級日記		31～32	菅原孝標女	新潮社	1980年
76～78	源氏の五十余巻[更級日記]	国語教材	新潮日本古典集成 更級日記		34～36	菅原孝標女	新潮社	1980年
79～80	嘆きつつ[蜻蛉日記]	国語教材	新編日本古典文学全集	13	99～101	藤原道綱母	小学館	1995年
81～83	道綱鷹を放つ[蜻蛉日記]	国語教材	新編日本古典文学全集	13	201～202	藤原道綱母	小学館	1995年
84～85	大事を思ひ立たむ人は[徒然草]	国語教材	新編日本古典文学全集	44	128～129	兼好	小学館	1995年
86～87	世に語り伝ふること[徒然草]	国語教材	新編日本古典文学全集	44	139～140	兼好	小学館	1995年
88	現茶に、なにかしの押頭使はて[徒然草]	国語教材	新編日本古典文学全集	44	135～136	兼好	小学館	1995年

出典一覽表

申請図書			出典						備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次		
89～90	これも仁和寺の法師[徒然草]	国語教材	新編日本古典文学全集	44	122～124	兼好	小学館	1995年	
91	九月二十日のころ[徒然草]	国語教材	新編日本古典文学全集	44	107～108	兼好	小学館	1995年	
92～93	久しく隔たりて会ひたる人の[徒然草]	国語教材	新編日本古典文学全集	44	125～126	兼好	小学館	1995年	
94～96	安元の大火[方丈記]	国語教材	新編日本古典文学全集	44	16～18	鴨長明	小学館	1995年	
97～99	養和の飢饉[方丈記]	国語教材	新編日本古典文学全集	44	22～24	鴨長明	小学館	1995年	
100～102	雲林院にて[大鏡]	国語教材	新編日本古典文学全集	34	13～17		小学館	1996年	
103～106	花山院の出家[大鏡]	国語教材	新編日本古典文学全集	34	44～48		小学館	1996年	
107～108	公任、三船の誉れ[大鏡]	国語教材	新編日本古典文学全集	34	115～116		小学館	1996年	
109～110	南の院の鏡射[大鏡]	国語教材	新編日本古典文学全集	34	324～326		小学館	1996年	
111～114	忠度の都落ち[平家物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	46	74～77		小学館	1994年	
115～118	能登殿の最期[平家物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	46	386～389		小学館	1994年	
119～121	千早城の戦い[太平記]	国語教材	新編日本古典文学全集	54	342～344		小学館	1994年	
122～123	二十四、五[風姿花伝]	国語教材	新編日本古典文学全集	88	214～215	世阿弥	小学館	2001年	
124～125	虚実皮膜の間[難波土産]	国語教材	日本古典文学大系	50	358～359	穂積以貫	岩波書店	1959年	
126～128	忠度[謡曲]	国語教材	新編日本古典文学全集	58	155～157、158～159	世阿弥	小学館	1997年	
129	実践 芸能の中に生きる古典文学を味わおう	国語教材							編集委員会による書き下ろし
130～131	日本の芸能	国語教材							編集委員会による書き下ろし
132	熟田津に[万葉集]	国語教材	新編日本古典文学全集	6	29	額田王	小学館	1994年	
132	玉だすき[万葉集]	国語教材	新編日本古典文学全集	6	42～43	柿本人麻呂	小学館	1994年	
133	ささなみの志賀の唐崎[万葉集]	国語教材	新編日本古典文学全集	6	44	柿本人麻呂	小学館	1994年	
133	ささなみの志賀の大わだ[万葉集]	国語教材	新編日本古典文学全集	6	44	柿本人麻呂	小学館	1994年	
133	憶良らは[万葉集]	国語教材	新編日本古典文学全集	6	206	山上憶良	小学館	1994年	
133	験なき[万葉集]	国語教材	新編日本古典文学全集	6	207	大伴旅人	小学館	1994年	
133	若の浦に[万葉集]	国語教材	新編日本古典文学全集	7	110	山部赤人	小学館	1995年	
133	この花のひとよのうちに[万葉集]	国語教材	新編日本古典文学全集	7	306	藤原広嗣	小学館	1995年	
134	もののふの[万葉集]	国語教材	新編日本古典文学全集	9	296～297	大伴家持	小学館	1996年	
134	筑波嶺に[万葉集]	国語教材	新編日本古典文学全集	8	458	東歌	小学館	1995年	
134	わが妻は[万葉集]	国語教材	新編日本古典文学全集	9	384	防人歌	小学館	1996年	
135	春の野に[古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	70	紀貫之	小学館	1994年	
135	五月雨に[古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	83	紀友則	小学館	1994年	
135	もみぢ葉の[古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	131	素性	小学館	1994年	
136	朝ぼらけ[古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	144	坂上是則	小学館	1994年	
136	起きもせず[古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	242	在原業平	小学館	1994年	
136	あひにあひて[古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	290	伊勢	小学館	1994年	

出典一覽表

申請図書			出典						備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次		
136	色見えて[古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	303	小野小町	小学館	1994年	
136	わたの原[古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	173	小野篁	小学館	1994年	
137	来べきほど[古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	181	藤原敏行	小学館	1994年	
137	深草の[古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	314	上野岑雄	小学館	1994年	
137	わくらばに[古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	363	在原行平	小学館	1994年	
138	都をば[後拾遺和歌集]	国語教材	新日本古典文学大系	8	169	能因	岩波書店	1995年	
138	かくとだに[後拾遺和歌集]	国語教材	新日本古典文学大系	8	201	藤原実方	岩波書店	1995年	
138	黒髪の[後拾遺和歌集]	国語教材	新日本古典文学大系	8	246	和泉式部	岩波書店	1995年	
138	もの思へば[後拾遺和歌集]	国語教材	新日本古典文学大系	8	378	和泉式部	岩波書店	1995年	
139	仏は常に[梁塵秘抄]	国語教材	新編日本古典文学全集	42	191		小学館	2000年	
139	遊びをせむとや[梁塵秘抄]	国語教材	新編日本古典文学全集	42	281		小学館	2000年	
140	難波江の蘆[千載和歌集]	国語教材	新日本古典文学大系	10	244	皇嘉門院別当	岩波書店	1993年	
140	はのほのと春こて空に[新古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	43	23	後鳥羽院	小学館	1995年	
141	またや見む[新古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	43	53	藤原俊成	小学館	1995年	
141	窓近き[新古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	43	90	式子内親王	小学館	1995年	
141	むらさめの[新古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	43	151	寂蓮	小学館	1995年	
141	さびしさに[新古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	43	186	西行	小学館	1995年	
141	たまゆらの[新古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	43	233	藤原定家	小学館	1995年	
142	露はらふ[新古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	43	385	藤原俊成	小学館	1995年	
142	人住まぬ[新古今和歌集]	国語教材	新編日本古典文学全集	43	464	藤原良経	小学館	1995年	
142	箱根路を[金槐和歌集]	国語教材	新編国歌大観		80	源実朝	角川書店	1986年	
143	人買ひ舟は[閑吟集]	国語教材	新編日本古典文学全集	42	460		小学館	2000年	
143	あまり言葉の[閑吟集]	国語教材	新編日本古典文学全集	42	487		小学館	2000年	
144	やまとうたは[古今和歌集仮名序]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	17	紀貫之	小学館	1994年	
145	六歌仙[古今和歌集仮名序]	国語教材	新編日本古典文学全集	11	26~28	紀貫之	小学館	1994年	
146	雪ながら[水無瀬三吟百韻]	国語教材	新編日本古典文学全集	61	73	宗祇	小学館	2001年	
146	ゆく水[水無瀬三吟百韻]	国語教材	新編日本古典文学全集	61	73	肖柏	小学館	2001年	
146	川風に[水無瀬三吟百韻]	国語教材	新編日本古典文学全集	61	73~74	宗長	小学館	2001年	
146	舟さす音[水無瀬三吟百韻]	国語教材	新編日本古典文学全集	61	74	宗祇	小学館	2001年	
146	月やなほ[水無瀬三吟百韻]	国語教材	新編日本古典文学全集	61	74	肖柏	小学館	2001年	
147	霜おく野原[水無瀬三吟百韻]	国語教材	新編日本古典文学全集	61	75~76	宗長	小学館	2001年	
147	なく虫の[水無瀬三吟百韻]	国語教材	新編日本古典文学全集	61	75	宗祇	小学館	2001年	
147	垣根を[水無瀬三吟百韻]	国語教材	新編日本古典文学全集	61	75	肖柏	小学館	2001年	
148	枯れ枝に	国語教材	新編日本古典文学全集	70	70	松尾芭蕉	小学館	1995年	
148	荒海や	国語教材	新編日本古典文学全集	70	287~288	松尾芭蕉	小学館	1995年	

出典一覽表

申請図書			出典						備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次		
148	梅が香に	国語教材	新編日本古典文学全集	70	456～457	松尾芭蕉	小学館	1995年	
148	旅に病んで	国語教材	新編日本古典文学全集	70	502～503	松尾芭蕉	小学館	1995年	
148	春の海	国語教材	新編日本古典文学全集	72	230	与謝蕪村	小学館	2001年	
148	愁ひつつ	国語教材	新編日本古典文学全集	72	242	与謝蕪村	小学館	2001年	
148	五月雨や	国語教材	新編日本古典文学全集	72	243	与謝蕪村	小学館	2001年	
148	白梅に	国語教材	新編日本古典文学全集	72	223	与謝蕪村	小学館	2001年	
149	これがまあ	国語教材	新編日本古典文学全集	72	408	小林一茶	小学館	2001年	
149	涼風の	国語教材	新編日本古典文学全集	72	387	小林一茶	小学館	2001年	
149	麦秋や	国語教材	新編日本古典文学全集	72	390	小林一茶	小学館	2001年	
149	秋風や	国語教材	新編日本古典文学全集	72	400	小林一茶	小学館	2001年	
150～152	愛児さと[おらが春]	国語教材	新編日本古典文学全集	42	600～602	小林一茶	小学館	2000年	
156～158	鷺にさらわれた赤子[今昔物語集]	国語教材	新編日本古典文学全集	37	457～460		小学館	2001年	
159～161	貝の祭りを兒物する羽[今昔物語集]	国語教材	新編日本古典文学全集	38	495～497		小学館	2002年	
162～164	里にまかでたるに[枕草子]	国語教材	新編日本古典文学全集	18	145～148	清少納言	小学館	1997年	
165～166	上にさぶらふ御猫は[枕草子]	国語教材	新編日本古典文学全集	18	38～43	清少納言	小学館	1997年	
170～173	車争ひ[源氏物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	21	22～24	紫式部	小学館	1995年	
174～178	心づくしの秋[源氏物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	21	187～188, 198～201	紫式部	小学館	1995年	
179～181	母子の別離[源氏物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	21	432～434	紫式部	小学館	1995年	
182～187	暁の雪[源氏物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	23	63～70	紫式部	小学館	1996年	
188～191	萩のうは露[源氏物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	23	504～506	紫式部	小学館	1996年	
192～194	霧の中のかいま見[源氏物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	24	138～140	紫式部	小学館	1997年	
195～199	髪の香[源氏物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	24	325～330	紫式部	小学館	1997年	
200～207	『源氏物語』の虚構	国語教材				鈴木日出男			書き下ろし
208～209	土御門殿の秋[紫式部日記]	国語教材	新編日本古典文学全集	26	123	紫式部	小学館	1994年	
210～211	和泉式部と清少納言[紫式部日記]	国語教材	新編日本古典文学全集	26	201～202	紫式部	小学館	1994年	
212～214	夢よりもはかなき世の中を[和泉式部日記]	国語教材	新編日本古典文学全集	26	17～19	和泉式部	小学館	1994年	
215～216	なべて世の[建礼門院右京大夫集]	国語教材	新編日本古典文学全集	47	111～112	建礼門院右京大夫	小学館	1999年	
217～219	関の藤川[十六夜日記]	国語教材	新編日本古典文学全集	48	275～276	阿仏	小学館	1994年	
220～221	すき者たち[袋草紙]	国語教材	新日本古典文学大系	29	87～88	藤原清輔	岩波書店	1995年	
222～223	雨の名[俊頼髓脳]	国語教材	新編日本古典文学全集	87	94～95	源俊頼	小学館	2002年	
224～225	おもて歌[無名抄]	国語教材	日本古典文学大系	65	73～74	鴨長明	岩波書店	1961年	
226～227	心と詞[毎月抄]	国語教材	新編日本古典文学全集	50	518～519	藤原定家	小学館	1975年	
228～230	紫式部[無名草子]	国語教材	新潮日本古典集成 無名草子		120～121		新潮社	1976年	
230～234	菅公配流[大鏡]	国語教材	新編日本古典文学全集	34	73～78		小学館	1996年	

出典一覽表

申請図書			出典					備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次		
235～236	宣耀殿の女御[大鏡]	国語教材	新編日本古典文学全集	34	117～119		小学館	1996年	
237～239	中宮安子の嫉妬[大鏡]	国語教材	新編日本古典文学全集	34	149～152		小学館	1996年	
240～243	肝試し[大鏡]	国語教材	新編日本古典文学全集	34	317～321		小学館	1996年	
244～247	道長、栄華への第一歩[大鏡]	国語教材	新編日本古典文学全集	34	327～331		小学館	1996年	
248～249	後鳥羽院[増鏡]	国語教材	日本古典文学大系	87	253～254		岩波書店	1965年	
250～251	隠岐配流[増鏡]	国語教材	日本古典文学大系	87	279		岩波書店	1965年	
252～253	千里に旅立ちて[野ざらし紀行]	国語教材	新編日本古典文学全集	71	21～22	松尾芭蕉	小学館	1997年	
254～255	行く春を[去来抄]	国語教材	新編日本古典文学全集	88	429	向井去来	小学館	2001年	
256～257	岩鼻や[去来抄]	国語教材	新編日本古典文学全集	88	442～443	向井去来	小学館	2001年	
258～259	北寿老仙をいたむ	国語教材	蕪村全集 第四巻		27～28	与謝蕪村	講談社	1994年	
260～261	奈良団扇[鶉衣]	国語教材	新編日本古典文学全集	72	496～497	横井也有	小学館	2001年	
262～265	忍び扇の長歌[西鶴諸国ばなし]	国語教材	新編日本古典文学全集	67	108～111	井原西鶴	小学館	1996年	
266～270	浅茅が宿[雨月物語]	国語教材	新編日本古典文学全集	78	311～316	上田秋成	小学館	1995年	
271	近世のことば	国語教材							編集委員会による書き下ろし
272～273	不易流行[三冊子]	国語教材	新編日本古典文学全集	88	575～576	服部土芳	小学館	2001年	
274～276	師の説になづまざること[玉勝間]	国語教材	本居宣長全集	1	87～88	本居宣長	筑摩書房	1968年	
277～279	もののはれ論[源氏物語玉の小櫛]	国語教材	本居宣長全集	4	198～199	本居宣長	筑摩書房	1969年	
280～284	倭建命[古事記]	国語教材	新潮日本古典集成 古事記		161～165, 169～170		新潮社	1979年	
285～286	【参考】日本武尊の死[日本書紀]	国語教材	新編日本古典文学全集	2	384～387		小学館	1994年	
287	実践 二つの伝承を読み比べて、表現の違いについて考えよう	国語教材							編集委員会による書き下ろし
288～292	古文の表現	国語教材							編集委員会による書き下ろし (例文以外)
293	上代のことば	国語教材							編集委員会による書き下ろし
294	読書案内	国語教材							編集委員会による書き下ろし
296～297	古典常識——装束・乗り物	付録							編集委員会による書き下ろし
298～299	古典常識——仕立・調度・目職と位階	付録							編集委員会による書き下ろし
300～301	古典常識——暦法	付録							編集委員会による書き下ろし
302～305	古典文法要覧	付録							編集委員会による書き下ろし
306～311	古語の理解	付録							編集委員会による書き下ろし
312～315	日本古典文学史	付録							編集委員会による書き下ろし
316～318	『源氏物語』年立	付録							編集委員会による書き下ろし
319	皇室・藤原氏略系図	付録							編集委員会による書き下ろし

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

出典一覧表

申請図書		出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	

- ①「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
 ②「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
 ③「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。
- 2 「出典」の欄については次のとおりとする。
- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称(版次を含む。)、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者および発行年次を各欄に示す。
 ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日を示す。
 ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や所有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。
- 3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又はあらたに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。
- 4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。
 (2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること(別途契約を締結する場合を除く)。

備考4の内容について確認しました。☑

図版出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
口絵一	旧国名・都道府県名対照図	地図						自社作成
口絵二	近畿主要図	地図						自社作成
口絵三	平安京図	地図						自社作成
2	伊勢物語絵巻	写真			住吉如慶			東京国立博物館
3	伊勢物語絵巻	写真			住吉如慶			東京国立博物館
4	伊勢物語絵巻	写真			住吉如慶			東京国立博物館
5	伊勢物語絵巻	写真			住吉如慶			東京国立博物館
9	「源平合戦図屏風」	写真						霊松寺
13	保昌と、その隙をうかがく袴垂(「藤原保昌月下弄笛図」月岡芳年筆)	写真			月岡芳年			東京国立博物館
15	普賢菩薩	写真						東京国立博物館
20	春日の里の「女はらから」(「伊勢物語絵巻」)	写真						和泉市久保惣記念美術館
22	『伊勢物語』関係系図(1)	表						自社作成
22	月やあらぬ……(土佐光起筆)	写真			土佐光起「業平歌意図」			東京国立博物館
25	「男」のもとを訪れる齋宮(「奈良絵本伊勢物語」)	写真						国文学研究資料館所蔵
28	渚の院(「奈良絵本伊勢物語」)	写真						国文学研究資料館所蔵
28	『伊勢物語』関係系図(2)	表						自社作成
30	水無瀬離宮・渚の院地図	地図						自社作成
32	小野地図	地図						自社作成
33	平安京・長岡京地図	地図						自社作成
35	姨捨棚田と冠着山	写真						ピクスタ提供 No33910912
36	姨捨(「奈良絵本大和物語」)	写真						国立国会図書館
38	双鹿図(円山応挙筆)	写真			円山応挙			京都国立博物館
44	網代(「石山寺縁起絵巻」)	写真						石山寺
52	虫めづる姫君(「中納言物語色紙」)	写真						早稲田大学図書館
60	帝と皇子の対面(「源氏物語図屏風」狩野氏信筆)	写真			狩野氏信			柳孝氏
62	『源氏物語』関係系図(1)	表						自社作成
64	輦車(「石山寺縁起絵巻」)	写真						石山寺
65	『源氏物語』関係系図(2)	表						自社作成
69	『源氏物語』関係系図(3)	表						自社作成
71	紫の上をかいま見る光源氏(「源氏物語画帖」)	写真			土佐光吉			京都国立博物館
78	物語を読む浮舟(左)と侍女(「源氏物語絵巻」)	写真						徳川美術館
81	鷹を放つ(「春日権現験記絵巻」)	写真						宮内庁三の丸尚蔵館
85	兼好ゆかりの地と伝えられる双ヶ岡(手前)	写真						ピクスタ提供 No41298333
89	鼎をかぶる法師(「徒然草屏風」)	写真						神奈川県立金沢文庫
92	兼好像(伝狩野探幽筆)	写真			伝・狩野探幽			神奈川県立金沢文庫
95	平安京部分図	図						自社作成

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
97	中世の飢饉のようす(「日蓮聖人註画讃」)	写真						本圀寺
99	阿字	図						自社作成
100	『大鏡』関係系図(1)	表						自社作成
101	雲林院の菩提講(「大かざみ絵」)	写真						国立歴史民俗博物館
103	『大鏡』関係系図(2)	表						自社作成
104	出家直前の花山院と藤原道兼(「大かざみ絵詞」)	写真						国立歴史民俗博物館
105	「朕をば謀るなりけり。」(「大かざみ絵詞」)	写真						国立歴史民俗博物館
107	『大鏡』関係系図(3)	表						自社作成
108	船遊び(「駒競行幸絵巻」)	写真						和泉市久保惣記念美術館
109	競射を行う道長と伊周(「大かざみ絵詞」)	写真						国立歴史民俗博物館
111	『平家物語』関係系図	表						自社作成
113	忠度と俊成(『平家物語』挿絵)	写真						自社
116	甲と鏡	図						森宏氏作成
117	にらみすえる教経と、隣の舟に飛び移る義経(「源平合戦図屏風」)	写真						霊松寺
128	忠度の霊	写真						国立能楽堂・能楽協会
130	能「葵上」	写真						国立能楽堂・能楽協会
130	狂言「樺縛」	写真						万作の会・政川慎治氏
131	人形浄瑠璃「曾根崎心中」	写真						国立劇場・人形浄瑠璃文楽座
131	歌舞伎「暫」	写真						松竹株式会社・日本俳優座
153	土佐光吉筆「源氏物語画帖」	写真			土佐光吉			京都国立博物館
167	中宮定子(右上)と女房たち(「白描枕草子絵詞」)	写真						逸翁美術館
171	車争い(狩野山楽筆「車争ひ図屏」)	写真			狩野山楽			東京国立博物館
175	須磨の海を眺める源氏(土佐光吉筆「源氏物語手鑑」)	写真			土佐光吉			和泉市久保惣記念美術館
179	『源氏物語』関係系図(3)	表						自社作成
182	『源氏物語』関係系図(4)	表						自社作成
187	六条院想定図	地図						自社作成
190	紫の上を見舞う源氏。小さな後ろ姿は明石の中宮(「源氏物語絵」)	写真						五島美術館
192	『源氏物語』関係系図(5)	表						自社作成
193	八の宮の姫君たちをかいま見る薫(「源氏物語絵巻」)	写真						徳川美術館
208	紫式部を訪れる貴公子たち(「紫式部日記絵巻」)	写真						五島美術館
218	『十六夜日記』旅程図	地図						自社作成
229	紫式部図(土佐光起筆)	写真			土佐光起			石山寺
232	梅の花あるじなしとて……(「北野天神縁起絵巻」)	写真						北野天満宮
237	『大鏡』関係系図(4)	表						自社作成
241	大内裏部分図(仁寿殿・豊楽院・大極殿)	図						自社作成

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
244	『大鏡』関係系図(5)	表						自社作成
245	藤原道長(「紫式部日記絵巻」)	写真						藤田美術館
249	後鳥羽天皇(伝藤原信実筆)	写真			伝・藤原信実			水無瀬神宮
255	春の琵琶湖	写真						フォトライブラリー提供 No3076498
256	与謝蕪村画「去来」(「続俳家奇人談」)	写真						神戸大学附属図書館
260	横井也有像(「肖像集」栗原信充)	写真			栗原信充			国立国会図書館
263	すすぎ洗濯をする姫君(『西鶴諸国ばなし』挿絵)	写真						自社所蔵
269	事情を知る村の古老と荒れはてた我が家を見る勝四郎(『雨月物語』挿絵)	写真						自社所蔵
279	本居宣長像(自画自賛)	写真						本居宣長記念館
281	倭建命東征図	地図						自社作成
288	『古事記』序	写真						寶生院
288	『源氏物語』冒頭	写真						古代学協会
288	『平家物語』冒頭	写真						東京大学国語学研究室
294	『うたげと孤心』(大岡 信)	写真						自社所蔵
294	『枕草子のたくらみ「春はあけぼの」に秘められた思い』(山本淳子)	写真						自社所蔵
294	『平安文学でわかる恋の法則』(高木和子)	写真						自社所蔵
294	『火山列島の思想』(益田勝実)	写真						自社所蔵
294	『方丈記私記』(堀田善衛)	写真						自社所蔵
294	『本居宣長とは誰か』(子安信邦)	写真						自社所蔵
294	『日本語の歴史』(山口仲美)	写真						自社所蔵
295	歌川国芳「猫の当て字かつを」	写真			歌川国芳			大英博物館
296	文官の束帯	写真						国立歴史民俗博物館
296	武官の束帯	写真						国立歴史民俗博物館
296	直衣	写真						国立歴史民俗博物館
296	狩衣	写真						国立歴史民俗博物館
297	女房装束	写真						国立歴史民俗博物館
297	小袷	写真						国立歴史民俗博物館
297	牛車(網代車)	図			瀬川尚志			自社所蔵
298	東三条殿復元模型	写真						京都文化博物館提供
298	調度・御帳台(3点)	写真						国立歴史民俗博物館
299	中央官制	図						自社作成
299	官位相当表	図						自社作成
300	五行と十干	図						自社作成
300	十二支	図						自社作成
300	干支	図						自社作成
300	古方位	図						自社作成
300	古時刻	図						自社作成
301	月の異名と二十四節気	図						自社作成
301	月齢表	図						自社作成
口絵四	大内裏・内裏平面図	図						自社作成

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
口絵五	清涼殿・紫宸殿平面図	図						自社作成
口絵五	京都御所の清涼殿	写真						光芸荘提供

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

①「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。

②「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。

③「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称(版次を含む。)、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者および発行年次を各欄に示す。

② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日を示す。

③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や所有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又はあらたに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること(別途契約を締結する場合を除く)。

備考4の内容について確認しました。☑

加 除 訂 正 表

申請図書		種別	原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文 (ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称				
44~45	すさまじきもの[枕草子]	国語教材	(58ページ7行目~60ページ13行目)人の国よりおこせたる文の物なき。京のをさこそ思ふらめ、されど、それはゆかしき事どもをも書きあつめ、世にある事なども聞けはよいよし。人のもとにわざと清げに書きてやりつる文の返事、今はもて来ぬらむかし、あやしうおそきと、待つほどに、ありつる文、立て文をも結びたるをも、いときたなげに取りなし、ふくだめて、上に引きたりつる墨など消えて、「おほしまさざりけり」、もは、「御物忌とて取り入れず」と言ひて、持て帰らる。いとわびしくすまじ。また、かならず来べき人のもとに車をやりて待つに、来る音すれば、さななりと、人々出でて見るに、車宿りにさらに引き入れて、轅ほうとうちおろすを、「いかにぞ」と問へば、「今日は外へおはしますとて、わたりたまはず」などうち言ひて、牛のかざり引き出でていぬる。また、家の内なる男君の来ずなりぬる、いとすまじ。さるべき人の官仕へするがりやりて、はづかしと思ひあたるも、いとあいなし。 ちこの乳母の、ただあからさまにとて出でぬるほど、とかなくさめて、「とく来」と言ひやりたるに、「今宵はえまぬまじ」とて、返しおこせたるは、すまじきのみならず、いとにくわりなし。 女迎ふる男、まいていかならむ。待つ人ある所に、夜すこしふけて、しのびやかに門たけは、胸すこしつぶれて、人出だして問はするに、あらぬよしなき者の名のりして来たるも、かへすがへすもすまじといふはおろかなり。 験者の、物の怪調ずとて、いみじうしたり顔に、独結や数珠など持たせ、せみの声しほり出だしてよみみたれど、いささか去りげもなく、護法もつかねば、あつまり念じたるに、男も女もあやしと思ふに、時のかはるまでよみ困て、「さらにつかず。立ちねとて、数珠取り返して、「あないと験なしや」とうち言ひて、額より上さまに、さくりあげ、欠伸おのれよりうちして、寄り臥しぬる。いみじうねふたしと思ふに、いとしもおぼえぬ人の、おし起こしてせめて物言ふこそ、いみじうすまじけれ。	削除	学習上の配慮
50~53	虫めづる姫君[堤中納言物語]	国語教材	(22ページ4行目~23ページ9行目)これを、若き人々聞きて、「いみじくさかしたまへど、心地こそ感へ、この御遊びものは」「いかなる人、蝶めづる姫君につかまつらむ」とて、兵衛といふ人、いかにでれどかむかたなくいてしかなきは虫ながら見るわざはせじと言へば、小大輔といふ人、笑ひて、 うらやまし花や蝶やと言ふめれどかはむしくさきよをも見るかななど言ひて笑へば、「からしや、肩はしも、かは虫だちたためり」「さて、齒ぐきは、皮のむけたるにやあらむ」とて、左近といふ人、 「冬くれば衣たのもし寒くとも鳥毛虫多く見ゆるあたりは衣など着ずともあらなむかし」など言ひあへるを、とがとしき女聞きて、「若人たちは、何事言ひおはさうずるぞ、蝶めでたまふなる人も、もはら、めでたうもおぼえす。けしからずこそおぼゆれ。さてまた、鳥毛虫ならん、蝶といふ人ありなむやは、ただ、それが蛭くるぞかし。そのほどをたづねてしたまふぞかし。それこそ心深けれ。蝶はとらふれば、手にきりつきて、いとむつかしきものぞかし。また、蝶はとらふれば、瘡病せさすなり。あなゆゆしとも、ゆゆし」と言ふに、いとど憎まきりて、言ひあへり。	削除	学習上の配慮
103~106	花山院の出家[大鏡]	国語教材	(46ページ8行目~47ページ3行目) さて、土御門より東さまに率て出だしまらせたまふに、晴明が家の前をわたせたまへば、みづからの声にて、手をおひたたく、はたはたと打ちて、「帝王おりさせたまふと見ゆる天変ありつるが、すでになりにけりと見ゆるなり。まゐりて奏せむ。車に装束とうせよ」といふ声聞かせたまひけむ、ざりとあはれには思し召しけむかし。「且、式神一人内裏にまゐれ」と申しければ、目には見えぬもの、戸をおしあけて、御後をや見まゐらせけむ、「ただ今、これより過ぎさせおはしますめり」といへばけりとかや。その家、土御門町口なれば、御道なりけり。	削除	学習上の配慮
124~125	虚実皮膜の間 [難波土産]	国語教材	(359ページ3行目~同13行目) 是に付て、去ル御所方の女中、一人の恋男ありて、たがひに情けをあつくかほしけるが、女中は金殿の奥ふかく居給ひて、男は奥へ参る事もかなはねば、たゞ朝廷などにて御簾のひまより見給ふたまさかなれば、余りにあがれたまひて、其男のかたちを木像にきさませ、面影なども常に人形にかわりて、其男に毫ほどもちがはず。色艶のさいしきまいふに及ばず、毛のあな迄をうつつさせ、耳鼻の穴も口の内歯の数まで寸分たがへず作り立させたり。誠に其男を傍に置いて是を作らしたる故、その男と此人形とは神のあるとなきとの違いのみ成しが、かの女中は是を近付て見給へば、ざりとは生身を直にうつつしては興のさめてほろぎたなく、こはげの立もの也。さしもの女中の恋もさめて、傍に置給ふもうさく、やがて捨られたりとかや。是を思へば、生身の通りをすぐらうつさば、たとひ楊貴妃なりともあひそのつきたる所あるべし。それ故に	削除	学習上の配慮
126~128	忠度	国語教材	(157ページ5行目~158ページ5行目) 地謡「さるほどに一の谷の合戦、今はからよと見えしほどに、皆々舟に取り乗つて海上に浮ぶ。 シテ「われも舟に乗らんとて、汀の方にうち出でしに、後を見れば、武蔵の国の住人に、岡部の六弥太忠澄と名のつて、六七騎にて追つかけたり。これこそ望むところよと思ひ、駒の手綱を引つ返せば、六弥太やがてむす組み両馬が間にどうと落ち、かの六弥太を取つて押へ、すでに刀に手をかけしに、地謡「六弥太が郎等、御後より立ち回り、上にまします忠度の、右の腕を打ち落せば、左の御手にて、六弥太を取つて投げつけ、今はかなはじとおぼしめて、そご退き給へんや、西洋まんと言ひて、光明遍照十方世界、念仏衆生撰取不捨と宣ひし、御声の下りも、いたはしやあへなくも、六弥太太刀を抜き持ち、ついに御首を打ち落す。	削除	学習上の配慮
210~211	和泉式部と清少納言 [紫式部日記]	国語教材	(201ページ12行目~202ページ4行目) 丹波の守の北の方をば、宮、殿などのわたりには、匡衡衛門とぞいひはべる。ことにやむことなきほどならねど、まことにゆゆゆしく、歌詠もとて、よろづのことにつけて詠みちらさねど、聞こえたるかざりは、はかなきをりふしのとも、それこそ恥づかし口つきにはべれ。ややもせば、腰はなれぬばかり折れかたりたる歌を詠み出で、えもいはぬよしばみごととしても、われかしこに思ひたる人、にくくもいとほしくもおぼえはべるわざなり。	削除	学習上の配慮
220~221	すき者たち[袋草紙]	国語教材	(87ページ14行目~88ページ2行目) 河内の重如は山次郎判官代と号す。下賤の者なり。而るに吾より高き女を思ひかけて、艶書を書きて自ら持ち来りてこれを奉る。その状に云はく、 人づてはちりもやすと思ふまにわれがつかひにわれがきたる女、感歎して身を任すと云々。月夜には河内の国より夜ごとに住の江に行きて夜をあかすと云々。		学習上の配慮
266~270	浅茅が宿[雨月物語]	国語教材	(313ページ1行目~314ページ2行目) 勝四郎も心くらみてしばし物をも聞えざりしが、ややしていふは、「今までかくおはすと思ひなば、など年月を過すべき。去ぬる年京にありつる日、鎌倉の兵乱を聞き、御所の師潰しおはば、総州に避て禦ぎ給ふ。管領これを責むる事急なりといふ。其の明彦部にわかれて、八月のはじめ京を立ちく。木曾路を来るに、山賊あまたに取りこめられ、衣服金銀残りなく摘められ、命ばかりを辛勞じて助かりぬ。且里人のかたるを聞けば、東海・東山の道はすべて新聞を居て人を駐むるよし。又きのふ京より節刀使もたかり給ひて、上杉に与し、総州の陣に向はせ給ふ。本国の辺りは疾に焼きはらはれ馬の蹄尺地も聞なしとたたるによりて、今は灰塵とやなり給ひけん。海にや沈み給ひけんとひたすらに思ひとどめて、又京にのぼりぬるより、人に罅口で七とせは過ぎけり。近曾すずるに物のなつかしくありしかば、せめて其の腰をも見たきままに帰りぬれど、かくて世におはせんとは努々思はざりなり。巫山の雲漢宮の幻にもあらざるや」とりごとほしてしぞなき。	削除	学習上の配慮
280~284	倭建命[古事記]	国語教材	●162~165ページ (162ページ9行目~同12行目) かれ、尾張の国に到りて、尾張の国の造が祖、美夜受比売の家に入りましき。すなはち婚はむと思ひして、期り定めて東の国に幸して、ことごと山河の荒ぶる神、また伏はぬ人等を言向け和平しき。 (163ページ10行目~164ページ8行目) そこより入り幸て、走水の海を渡りましし時に、その渡の神浪を興し、船を廻して、え進み渡りまさざりき。しかして、その后、名は弟橘比売の命の白したまひく、「あれ御子に昇りて海の中に入らむ。御子は、遣はさし政遂げ、覆奏したまふべし」 海に入りまさむとする時に、菅八重・皮八重・重八重・きぬた八重もた波の上に敷きて、その上に下り坐しき。ここに、その暴浪おのづからに伏きて、御船え進みき。しかして、その後の歌ひたまひしは、 さなさし 相模の小野に 燃ゆる火の 火中に立ちて 問ひし君はも かれ、七日の後に、その後の御海辺に依りき。すなはち、その櫛を取りて、御陵を作りて、治め置きき。	削除	学習上の配慮
285~286	日本武尊の死[日本書紀]	国語教材	(385ページ10行目~17行目) 因りて大きに歎きて曰はく、「我が子小碓王、昔熊襲の叛きし日に、いまだ絶角にも至らぬに、久しく征伐に煩み、すでにして恒に左右に在りて、朕が不及を捕ひき。然るに東夷騒動み、討たしむる者なし。愛しきを忍びて賊の境に入らしむ。一日の願はずといふこと無し。是を以ちて、朝夕に進退ひて、還らむ日を佇待らしに、何の禍ぞも、何の罪ぞも、不意之間、我が子を喪亡すること。今より以後、誰人と与にか鴻業を経給む」とのたまふ。	削除	学習上の配慮

出典一覧表

申請図書			出典						備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等		
12	画竜点睛[歴代名画記]	国語教材	漢詩・漢文解釈講座	15	130	張彦遠・撰	昌平社	1995年	
13	漱石枕流[世説新語]	国語教材	新釈漢文大系	78	982	劉義慶 編	明治書院	1978年	
14	知音[呂氏春秋]	国語教材	国訳漢文大成 経子史部	20	83	呂不韋・編	国民文庫刊行会	1924年	
15～16	病入膏肓[春秋左氏伝]	国語教材	新釈漢文大系	31	749	左丘名	明治書院	1974年	
17	曳尾於塗中[莊子・秋水]	国語教材	新釈漢文大系 莊子(下)	8	484	莊周	明治書院	1967年	
18～19	先從隗始[戦国策]	国語教材	漢文大系	19	22～23	劉向	富山房	1976年	
20～23	漁父辞[楚辞]	国語教材	漢文名作選	4	47～51	屈原	大修館書店	1984年	
23～26	桃花源記[陶淵明集]	国語教材	漢文名作選	4	200～209	陶淵明	大修館書店	1984年	
27～29	春夜宴桃李園序[古文真宝・後集]	国語教材	漢文名作選	4	6～11	李白	大修館書店	1984年	
30	独坐敬亭山	国語教材	漢文名作選	3	42～43	李白	大修館書店	1984年	
30	登樂遊原	国語教材	新編 中国名詩選 下		174	李商隱	岩波書店	2015年	
31	九月九日憶山東兄弟	国語教材	漢文名作選	3	62～63	王維	大修館書店	1984年	
31	芙蓉楼送辛漸	国語教材	漢文名作選	3	117～118	王昌齡	大修館書店	1984年	
31	楓橋夜泊	国語教材	漢文名作選	3	128	張継	大修館書店	1984年	
32	野望	国語教材	新釈漢文大系 唐詩選	19	299	王維	明治書院	1964年	
32	旅夜書懷	国語教材	漢文名作選	3	130～132	杜甫	大修館書店	1984年	
33	出穎口初見淮山是日至寿州	国語教材	蘇東坡詩選		76	蘇軾	岩波書店	1975年	
34	遊山西村	国語教材	新編 中国名詩選 下		369～371	陸游	岩波文庫	2015年	
36	聞旅雁	国語教材	日本古典文学大系 菅家後集	72	483	菅原道真	岩波書店	1966年	
36	即事	国語教材	新井白石全集 白石詩草	5	88	新井白石	吉川半七	1904年	
37	無題	国語教材	漱石詩注		60	夏目漱石	岩波書店	1967年	
38～46	鴻門之会[項羽本紀]	国語教材	新釈漢文大系 史記二	39	449～458	司馬遷	明治書院	1973年	
47～50	四面楚歌[項羽本紀]	国語教材	新釈漢文大系 史記二	39	493～494 498	司馬遷	明治書院	1973年	
51～52	稲葉一徹[近古史談]	国語教材	漢文名作選	5	172～175	大槻磐溪	大修館書店	1984年	
53	中国の史書	国語教材							編集委員会による書き下ろし
54	鶴之報恩[搜神記]	国語教材	中国の古典 六朝・唐小説	32	153	干宝	学習研究社	1982年	
54～56	売鬼[搜神記]	国語教材	新輯搜神記 新輯搜神後記	上	382～384	干宝	中華書局	2007年	
57～58	王昭君[西京雜記]	国語教材	訳注 西京雜記・独断		47～49		東方書店	2000年	
59	王昭君	国語教材	李白詩選		15	李白	岩波文庫	1997年	
59	王昭君[和漢朗詠集]	国語教材	新潮日本古典集成 和漢朗詠集	61	262-264	大江朝綱	新潮社	1983年	
59	王昭君をよめる[後拾遺和歌集]	国語教材	後拾遺和歌集		508	赤染衛門	岩波文庫	2019年	
60～61	実践・同じテーマの作品を比較し、それぞれの特徴を理解しよう	国語教材							編集委員会による書き下ろし

出典一覧表

申請図書			出典					備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等		
62～65	師説[唐宋八家文読本]	国語教材	世界古典文学全集	30A	39	韓愈	筑摩書房	1986年	
66～69	捕蛇者説[唐宋八家文読本]	国語教材	中国古典選 唐宋八家文	36	7～23	柳宗元	朝日新聞社	1978年	
70～71	愛蓮説[古文真宝・後集]	国語教材	新釈漢文大系 古文真宝 後集	16	84～85	周敦頤	明治書院	1963年	
72	顔淵・季路侍[論語]	国語教材	論語		102	孔子	岩波文庫	1963年	
72～74	長沮・桀溺耦而耕[論語]	国語教材	論語		367～368	孔子	岩波文庫	1963年	
74	子路從而後[論語]	国語教材	論語		369～370	孔子	岩波文庫	1963年	
76～77	人無有不善[孟子]	国語教材	新釈漢文大系 孟子	4	379	孟軻	明治書院	1962年	
78～80	四端[孟子]	国語教材	新釈漢文大系 孟子	4	110～112	孟軻	明治書院	1962年	
81～82	性悪[荀子]	国語教材	新釈漢文大系 荀子	6	687	荀況	明治書院	1969年	
83	性善説と性悪説	国語教材							編集委員会による書き下ろし
84	読書案内	国語教材							編集委員会による書き下ろし
88	断腸[世説新語]	国語教材	中国の古典 世説新語 下	22	334-335	劉義慶 編	学習研究社	1984年	
89	螳螂之斧[莊子・人間世]	国語教材	新釈漢文大系 老子・莊子(上)	7	214～215	莊周	明治書院	1966年	
90	螳螂之斧[淮南子・人間訓]	国語教材	漢文大系 淮南子	20	巻18 33	劉安 編	富山房	1978年	
91～93	愚公移山[列子]	国語教材	新釈漢文大系 列子	22	223～225	列禦寇	明治書院	1967年	
94～95	詩経大序[詩経]	国語教材	新釈漢文大系 文選 文章篇 下		459		明治書院	2001年	
96	古今和歌集真名序	国語教材	新編古典文学全集		422	紀淑望	小学館	1994年	
97	実践・文学論を比較し、共通点や相違点を論述しよう	国語教材							編集委員会による書き下ろし
98～99	論文[文選]	国語教材	新釈漢文大系 文選 文章篇 中		195	曹丕	明治書院	1998年	
100～101	五柳先生伝[陶淵明集]	国語教材	陶淵明集校箋 修訂本		444～447	陶淵明	上海古籍出版社	2011年	
102～105	前赤壁賦	国語教材	漢文名作選	4	63-74	蘇軾	大修館書店	1984年	
106	桃夭	国語教材	漢詩名句辞典		285		大修館書店	1980年	
107	秋風辞	国語教材	新釈漢文大系 文選 文章篇 中	83	451～452	漢武帝	明治書院	1998年	
108	薤露[楽府詩集]	国語教材	新編 中国名詩選	上	194		岩波書店	2015年	
108	飲酒 其五	国語教材	漢文名作選3		186～187	陶淵明	大修館書店	1984年	
109	送別	国語教材	王維集校注	2	565～566	王維	中華書局	1997年	
109	漁翁	国語教材	柳宗元詩選		75～76	柳宗元	岩波書店	2011年	
110～111	石壕吏	国語教材	中国詩人選集 杜甫(下)	12	107～108	杜甫	岩波書店	1959年	
113～118	長恨歌	国語教材	漢詩・漢文解釈講座	3	518～520	白居易	昌平社	1995年	
119	漢詩のきまり	国語教材							編集委員会による書き下ろし
120～126	怒髮上衝冠[廉頗藺相如列伝]	国語教材	新釈漢文大系 史記九	89	249～258	司馬遷	明治書院	1993年	
127～128	刎頸之交[廉頗藺相如列伝]	国語教材	新釈漢文大系 史記九	89	259～260	司馬遷	明治書院	1993年	
129	「廉頗藺相如列伝」論贊	国語教材	新釈漢文大系 史記九	89	278	司馬遷	明治書院	1993年	

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
130～135	国士無双[淮陰侯列伝]	国語教材	新釈漢文大系 史記十	90	108～114	司馬遷	明治書院	1996年
136～138	信玄何在[日本外史]	国語教材	漢文名作選	5	158～162	頼山陽	大修館書店	1984年
139	日本人の漢文	国語教材						編集委員会による書き下ろし
140～143	離魂記[太平広記]	国語教材	新釈漢文大系 唐代伝奇	44	59～63	陳玄祐	明治書院	1971年
144～146	人面桃花	国語教材	漢文名作選	4	210～221	蒲松齡	大修館書店	1984年
147～149	杜子春[太平広記]	国語教材	漢詩・漢文解釈講座	14	379～380	張彦遠・撰	昌平社	1995年
149～150	杜子春(抄)	国語教材	芥川龍之介全集	4	164～166	芥川龍之介	岩波書店	1977年
151	実践・翻案による新たな世界観の創造	国語教材						編集委員会による書き下ろし
152～154	前出師表[古文真宝後集]	国語教材	新釈漢文体系	16	344～350	諸葛亮	明治書院	1963年
155～160	与微之書	国語教材	白居易集		972～973	白居易	中華書局	1979年
161～163	傷仲永	国語教材	王安石全集		299～300	王安石	上海古籍出版社	1999年
164	無之用[老子]	国語教材	新釈漢文大系 老子・莊子(上)	7	28	老子	明治書院	1966年
164～165	柔之勝剛[老子]	国語教材	新釈漢文大系 老子・莊子(上)	7	126	老子	明治書院	1966年
166	渾沌[莊子]	国語教材	新釈漢文大系 老子・莊子(上)	7	291	莊周	明治書院	1966年
167	無用之用[莊子]	国語教材	新釈漢文大系 老子・莊子(上)	7	697	莊周	明治書院	1966年
168	守業[韓非子]	国語教材	新釈漢文大系 韓非子(上)	11	72	韓非	明治書院	1960年
169	嬰逆鱗[韓非子]	国語教材	韓非子		117～118	韓非	明德出版社	1968年
170～171	兼愛[墨子]	国語教材	新釈漢文大系 墨子(上)	50	178～179	墨子	明治書院	1975年
171	足責[墨子]	国語教材	新釈漢文大系 墨子(下)	51	585～586	墨子	明治書院	1987年
172～179	言と黙	国語教材	中国宗教思想2 (岩波講座 東洋思想)	14	241～246	興膳宏	岩波書店	1990年
180	諸子百家	国語教材						編集委員会による書き下ろし
182～183	送り仮名のきまり	国語教材						編集委員会による書き下ろし
184～185	漢語の理解	国語教材						編集委員会による書き下ろし
186～190	主な漢文句法	国語教材						編集委員会による書き下ろし

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

①「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。

②「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。

③「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称(版次を含む。)、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者および発行年次を各欄に示す。

② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日を示す。

出典一覧表

申請図書			出典				備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	

③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付されたた整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又はあらたに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

- 4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。
 (2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること(別途契約を締結する場合を除く)。

備考4の内容について確認しました。☑

図版出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次
口絵一・二	函谷関	写真						山口直樹氏撮影
口絵二	秦・始皇帝陵の兵馬俑	写真						山口直樹氏撮影
口絵二	「鴻門之会」の跡地にある石碑	写真						山口直樹氏撮影
口絵二	虞美人の墓の入り口	写真						山口直樹氏撮影
口絵三	武器	図			瀬川尚志			自社所蔵
口絵三	器物	写真						東京国立博物館所蔵
口絵三	璧玉	図			瀬川尚志			自社所蔵
口絵三	駟馬	図			秦始皇兵馬俑博物館			シーピーシーフォト提供
2～5	武陵桃源図	写真			呉春			遠山記念館所蔵
9	王昭君	写真			安田鞞彦			メナード美術館所蔵
11	孔子像	写真						シーピーシーフォト提供 YS-100727
13	耳を洗う許由	写真	許由巢父図屏風		狩野永徳			東京国立博物館所蔵
14	聴琴図	写真			徽宗			北京故宫博物院所蔵
15	豎子	写真	列子・布袋図		森川許六			東京国立博物館所蔵
19	戦国時代図	地図						自社作成
21	屈原	写真			横山大観			巖島神社所蔵
23	陶淵明	写真	詩仙堂志					国立国会図書館所蔵
24～25	武陵桃源図	写真			呉春			遠山記念館所蔵
27	酔李白図(狩野秀頼筆)	写真			狩野秀頼			板橋区立美術館所蔵
28	桃李園図	写真			仇英			知恩院所蔵
30	李商隠	写真	詩仙堂志					国立国会図書館所蔵
33	蘇軾像	写真			趙孟頫			国立故宫博物院所蔵
34	酒の仕込みのようすを描いた画像石	写真						シーピーシーフォト提供 JBD-689
36	雁	写真						istock提供
40	鴻門会	写真			安田鞞彦			東京国立近代美術館所蔵
40	漢楚抗争図①	地図						自社所蔵
40	漢楚抗争図②	地図						自社所蔵
41	玉玦	写真						シーピーシーフォト提供 JBD-689
49	項羽	写真			安田鞞彦			東京国立博物館所蔵
56	中国の小説の挿絵に描かれた鬼	写真						シーピーシーフォト提供 JBD-689
57	王昭君図	写真			菱田春草			致道博物館所蔵
61	明妃出塞図	写真			宮素然			大阪市立美術館所蔵
64	韓愈	写真						シーピーシーフォト提供 PT-12003
68	柳宗元	写真						シーピーシーフォト提供 PT-12005
71	蓮の花	写真						自社所蔵

図版出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次
73	子路問津図	写真	孔子画伝					シーピーシーフォト提供 KJ-168
76	孟子をまつる亜聖殿	写真						自社所蔵
79	四書集註	写真			朱熹			国立国会図書館所蔵
80	孟子	写真	至聖先賢半身像「孟子」					国立故宫博物院所蔵
81	荀子	写真						シーピーシーフォト提供 YS-58502
84	春秋戦国の処世術	写真			松本肇			自社所蔵
84	中国名文選	写真			興膳宏			自社所蔵
84	精選漢詩集	写真			下定雅弘			自社所蔵
84	現代語訳 史記	写真			司馬遷／大木康訳			自社所蔵
84	知の古典は誘惑する	写真			小嶋毅			自社所蔵
84	詩人・菅原道真	写真			大岡信			自社所蔵
84	漢語の謎	写真			尾形光琳			自社所蔵
85	玄宗皇帝と楊貴妃	写真	並笛図屏風		伝狩野宗秀			文化庁所蔵
87	荘子、胡蝶となる	写真			伝・劉貫道			ユニフォトプレスインターナショナル提供
91	中国	地図						自社作成
95	卜商像	写真	至聖先賢半身像「子夏」					国立故宫博物院蔵
101	五柳先生	写真			横山大観			東京国立博物館所蔵
102	東坡赤壁	写真						シーピーシーフォト提供 CPC YS-91002
111	現代の石壕村	写真						山口直樹氏撮影 山本嘉祥氏文庫所蔵
121	壁を持つ蘭相如	写真	漢画像石・山東嘉祥県文保所蔵					シーピーシーフォト提供 CPC JBD-790
123	玉璧	写真						上海博物館所蔵 ユニフォトプレスインターナショナル提供_FOE_11947047
133	韓信	写真						シーピーシーフォト提供 PT-11983b
133	蕭何	写真						シーピーシーフォト提供 PT-12007b
137	信玄の本陣へ切り込む謙信	写真	川中島合戦図屏風					和歌山県立博物館所蔵
153	諸葛亮	写真						シーピーシーフォト提供 YS-71808
155	白居易	写真	詩仙堂志					国立国会図書館所蔵
157	三游洞にある白行簡・白居易・元稹の像	写真						ユニフォトプレスインターナショナル提供 DAM/0162926010
157	左の三名が訪れて詩を詠んだという三游洞	写真						ユニフォトプレスインターナショナル提供 FOE_10148998
164	王安石像	写真						中国国家博物館所蔵 シーピーシーフォト提供 1351D
160	車輪	図						瀧原愛治氏作成
181	博山爐	写真						奈良国立博物館所蔵

図版出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次
口絵4	中国春秋戦国時代要図	地図						自社作成
口絵5～6	中国歴史地図	地図						自社作成

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

①「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。

②「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。

③「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称(版次を含む。)、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者および発行年次を各欄に示す。

② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日を示す。

③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や所有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又はあらたに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること(別途契約を締結する場合を除く)。

備考4の内容について確認しました。☑

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
12	画竜点睛	国語教材	(358ページ3行目)天覧中。為武陵王国侍郎。直秘閣。知画事。歴右軍將軍・呉興太守。 (358ページ4～6行目)時諸王在外。武帝思之。遣僧繇。乘伝写貌。対之如面也。江陵天皇寺。明帝置。内有柏堂。僧繇画盧舍那佛像及仲尼十哲。帝怪問。釈門内如何画孔聖。僧繇曰。後当頼此耳。及後周滅仏法。焚天下寺塔。独以此殿有宣尼像。乃不令毀拆。又	削除	学習上の配慮
15～16	病入膏肓	国語教材	公疾病。	晋景公疾病。	学習上の配慮
16～17	先從隗始[戦国策]	国語教材	(22ページ7行目～23ページ3行目) 曰。齊因孤國之亂。而襲破燕。孤極知燕小力少。不足以報。然得賢士與共國。以雪先王之恥。孤之願也。敢問以國報讎者奈何。郭隗先生對曰。帝者與師處。王者與友處。霸者與臣處。亡國與役處。屈指而事之。北面而受學。則百己者至。先趨而後息。先問而後嘿。則什己者至。人趨己趨則若己者至。馮几據杖。眄視指使則厮役之人至。若恣睢奮擊。响藉叱咄。則徒隸之人至矣。此古服道致士之法也。王誠博選國中賢者。而朝其門下。天下聞王朝其賢臣。天下之士。必趨於燕矣。 昭王曰寡人將誰朝而可。	削除	学習上の配慮
38	鴻門之会[史記]	国語教材	(449ページ)行略定秦地。	(38ページ・1行目)楚軍行略定秦地。	学習上の配慮
38～46	鴻門之会[史記]	国語教材	(451ページ～454ページ) 楚左尹項伯者、項羽季父也。素善留侯張良。張良是時從沛公。項伯乃夜馳之沛公軍、私見張良、具告以事、欲呼張良與俱去、曰、毋從俱死也。張良曰、臣為韓王送沛公。沛公今事有急、亡去不義。不可不語。良乃入、具告沛公。沛公大驚曰、為之奈何。張良曰、誰為大王為此計者。曰、鱄生説我曰、距關、毋内諸侯。秦地可盡王也。故聽之。良曰、料大王士卒、足以當項王乎。沛公默然。曰、固不如也、且為之奈何。張良曰、請往謂項伯、言沛公不敢背項王也。沛公曰、君安與項伯有故。張良曰、秦時與臣游。項伯殺人。臣活之。今事有急。故幸來告良。沛公曰、孰與君少長。良曰、長於臣。沛公曰、君為我呼入。吾得兄事之。張良出要項伯。項伯即入見沛公。沛公奉卮酒為壽、約為婚姻曰、吾入關、秋豪不敢有所近。籍吏民、封府庫、而待將軍。所以遣將守關者、備他盜之出入與非常也。日夜、望將軍至。豈敢反乎。願伯具言臣之不敢倍德也。項伯許諾、謂沛公曰、且日不可不蚤自來謝項王。沛公曰、諾。於是項伯復夜去。至軍中、具以沛公言報項王。因言曰、沛公不先破關中、公豈敢入乎。今人有大功、而擊之、不義也。不如因善遇之。項王許諾。	削除	学習上の配慮

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
47～50	四面楚歌[史記]	国語教材	(495ページ～497ページ) 於是項王乃上馬騎。麾下壯士騎從者八百余人。直夜潰圍、南出馳走。平明漢軍乃覺之令騎將灌嬰以五千騎追之。項王渡淮。騎能屬者百余人耳。項王至陰陵迷失道問一田父。田父給曰、左。左。乃陷大沢中。以故漢追及之。項王乃復引兵而東、至東城。乃有二十八騎。漢騎追者數千人。項王自度不得脫謂其騎曰、吾起兵至今八歲矣。身七十餘戰、所當者破、所擊者服、未嘗敗北。遂霸有天下。然今卒困於此。此天之亡我非戰之罪也。今日固決死。願為諸君決戰、必三勝之。為諸君潰圍、斬將刈旗、令諸君知天亡我、非戰之罪也。乃分其騎以為四隊四嚮。漢軍圍之數重。項王謂其騎曰、吾為公取彼一將。令四面騎馳下、期山東為三處。於是項王大呼馳下。漢軍皆披靡。遂斬漢一將。是時赤泉侯為騎將。追項王。項王瞋目而叱之。赤泉侯人馬俱驚、辟易數里。與其騎會為三、復圍之。項王乃馳復斬漢一都尉、殺數十百人。復聚其騎亡其兩騎耳。乃謂其騎曰、何如。騎皆伏曰、如大王言。	削除	学習上の配慮
120～126	怒髮上衝冠[史記]	国語教材	(254ページ～255ページ) 秦王齋五日後、乃設九賓禮於廷、引趙使者藺相如。相如至、謂秦王曰、秦自繆公以來二十餘君、未嘗有堅明約束者也。臣誠恐見欺於王而負趙。故令人持璧歸、閒至趙矣。且秦彊而趙弱、大王遣一介之使至趙、趙立奉璧來。今以秦之疆、而先割十五都予趙、趙豈敢留璧而得罪於大王乎。臣知欺大王之罪當誅。臣請就湯鑊。大王與群臣孰計議之。秦王與群臣相視而嘻。左右或欲引相如去。秦王因曰、今殺相如、終不能得璧也。而絕秦・趙之驩。不如因而厚遇之、使歸趙。趙王豈以一璧之故欺秦邪。卒廷見相如、畢禮而歸之。	削除	学習上の配慮

「古典探究」(古文編)ウェブページのアドレス等の掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考	
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要		
1	8	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	QRコードフロントページ。ウェブコンテンツ一覧。	別紙1	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc6/edc_new/html/300_yokobues.html	「宇治拾遺物語」の「袴垂、保昌にあふこと」(12ページ)の参考資料として、文化デジタルライブラリーより笛を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc6/edc_new/html/451_hichiriki.html	「古今著聞集」(18ページ)の参考資料として、文化デジタルライブラリーより筆策を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www.isejingu.or.jp/index.html	「伊勢物語」の「狩りの使ひ」(25ページ)の参考資料として、伊勢神宮のウェブサイトを紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150066_00000	「枕草子」(40ページ)の参考資料として、「NHK for School」の「枕草子」の番組を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150067_00000	「源氏物語」(58ページ)の参考資料として、「NHK for School」の「源氏物語」の番組を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://ninnai.jp/	「徒然草」の「これも仁和寺の法師」(89ページ)の参考資料として、仁和寺のウェブサイトを紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150186_00000	「大鏡」(100ページ)の参考資料として、「NHK for School」の「大鏡」の番組を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www.geidai.ac.jp/labs/koizumi/asia/jp/japan/biwa_h/000266.html	「平家物語」(111ページ)の参考資料として、「アジアの楽器図鑑」ウェブサイトより琵琶による『平家物語』の演奏を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc9/index.html	謡曲「忠度」(126ページ)の参考資料として、文化デジタルライブラリーより能を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/modules/learn/	コラム「日本の芸能」(130ページ)の参考資料として、文化デジタルライブラリーより伝統芸能を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150072_00000	コラム「日本の芸能」(130ページ)の参考資料として、「NHK for School」の「狂言」の番組を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150078_00000	コラム「日本の芸能」(130ページ)の参考資料として、「NHK for School」の「曾根崎心中」の番組を紹介。	
二次元コード	自社ページ		https://www.manvo.jp/	「万葉の歌」(132ページ)の参考資料として、奈良県立万葉文化館のウェブサイトを紹介。			

申請図書			学習上の参考にする情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	8	二次元コード	自社ページ	https://www.manreki.com/	「万葉の歌」(132ページ)の参考資料として、高岡市万葉歴史館のウェブサイトを紹介。	
		二次元コード	自社ページ	https://www.issakinenkan.com/about_issa/	「おらが春」(150ページ)の参考資料として、一茶記念館のウェブサイトを紹介。	
		二次元コード	自社ページ	https://kitanotenmangu.or.jp/	「大鏡」の「菅公配流」(230ページ)の参考資料として、北野天満宮のウェブサイトを紹介。	
		二次元コード	自社ページ	https://www.dazaifutenmangu.or.jp/	「大鏡」の「菅公配流」(230ページ)の参考資料として、太宰府天満宮のウェブサイトを紹介。	
		二次元コード	自社ページ	https://www.kcf.or.jp/basho/	「野ざらし紀行」(252ページ)の参考資料として、江東区芭蕉記念館のウェブサイトを紹介。	
		二次元コード	自社ページ	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005150077_00000	「雨月物語」(266ページ)の参考資料として、「NHK for School」の「雨月物語」の番組を紹介。	
		二次元コード	自社ページ	https://www.norinagakinenkan.com/	「玉勝間」(274ページ)ならびに「源氏物語玉の小櫛」(277ページ)の参考資料として、本居宣長記念館のウェブサイトを紹介。	
		二次元コード	自社ページ	https://atsutaiingu.or.jp/	「古事記」(280ページ)の参考資料として、熱田神宮のウェブサイトを紹介。	
		二次元コード	自社ページ	https://www.isejingu.or.jp/index.html	「古事記」(280ページ)の参考資料として、伊勢神宮のウェブサイトを紹介。	

(備考)

申請図書中に発行者が管理するウェブページのアドレス(二次元コードその他のこれに代わるものを含む。)を掲載する場合に、本表を以下のとおり作成する。

1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

① 「番号」の欄は、複数のページ等に掲載されたウェブページのアドレス等が同一のウェブページを参照させる場合、一つの番号にまとめて記入する。

② 「ページ」の欄は、ウェブページのアドレス等の申請図書における掲載ページを示す。

③ 「種別」の欄は、URL、二次元コード等の別を示す。

2 「学習上の参考にする情報」の欄については次のとおりとする。

① 「参照先」の欄には、発行者のページから参照させる学習上の参考にするページを作成する団体名などを記入する。

② 「URL」の欄には、実際に参照させる学習上の参考にするページのURLを記載する。なお、参照先が発行者の作成したページである場合は、「自社ページURL」と記入する。

③ 「概要」欄には、参照先における情報の内容を簡潔に記入する。

3 申請図書中のウェブページのアドレス等が参照させるウェブページの画面を印刷した紙面には、対応する本表の番号を紙面右上に付記し、本表に添付すること。

4 学習上の参考にする情報を示すウェブページが発行者において作成したページの場合、参照先のウェブページの画面を印刷した紙面を、本表に添付すること。

その際、「備考」の欄に「別紙1添付」などと記載し、印刷した紙面右上に「別紙1」などと記入すること。

* 各コンテンツ名をクリックしてください。参考資料のウェブページに移動します。

目次	ページ	コンテンツ名	概要
第一部			
第1章 生き生きと描かれた人々——説話			
宇治拾遺物語	12	楽器図鑑・笛 (「文化デジタルライブラリー」ウェブサイトより)	「袴垂、保昌にあふこと」の参考資料として、笛の種類、音色などを確認できます。
古今著聞集	18	楽器図鑑・箏 (「文化デジタルライブラリー」ウェブサイトより)	「刑部卿敦兼の北の方」の参考資料として、箏の姿、音色などを確認できます。
第2章 歌に思いを託す——物語（一）			
伊勢物語	25	伊勢神宮ウェブサイト	「狩りの使ひ」の参考資料として、伊勢神宮について紹介しています。
第3章 豊かな感受性、深まる思考——随筆（一）			
枕草子	40	「枕草子」について (「NHK for School」のウェブサイトより)	「枕草子」の紹介番組です。
第4章 人と人が織りなす世界——物語（二）			
源氏物語	58	「源氏物語」について (「NHK for School」のウェブサイトより)	「源氏物語」の紹介番組です。
第6章 人と社会を見つめる——随筆（二）			
徒然草	84	仁和寺ウェブサイト	「これも仁和寺の法師」の参考資料として、仁和寺について紹介しています。

第7章 歴史を語る——物語（三）

大鏡	100	「大鏡」について（「NHK for School」のウェブサイトより）	「大鏡」の紹介番組です。
平家物語	111	琵琶（平家）の演奏をさく（東京藝術大学音楽学部小泉文夫記念資料室「アジアの楽器図鑑」のウェブサイトより）	琵琶による『平家物語』の演奏動画を視聴できます。

第8章 身体とことば——芸能

忠度	126	能楽（「文化デジタルライブラリー」ウェブサイトより）	能の歴史、作品、能面、装束などが学べます。
コラム「日本の芸能」	130	舞台芸術教材で学ぶ（「文化デジタルライブラリー」ウェブサイトより）	狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎について詳細が学べます。
		「狂言」について（「NHK for School」のウェブサイトより）	「狂言」の紹介番組です。
		「曾根崎心中」について（「NHK for School」のウェブサイトより）	人形浄瑠璃の解説文中に出てくる「曾根崎心中」の紹介番組です。

第9章 定型の力——和歌・歌謡・連歌・俳諧

万葉の歌	132	奈良県立万葉文化館ウェブサイト	『万葉集』に関して学ぶことができる施設を紹介しています。
		高岡市万葉歴史館ウェブサイト	『万葉集』に関して学ぶことができる施設を紹介しています。
おらが春	150	一茶記念館ウェブサイト	小林一茶について紹介しています。

第二部

第6章 歴史を紡ぐ——物語（二）

大鏡	230	北野天満宮ウェブサイト	「菅公配流」の参考資料として、北野天満宮について紹介しています。
		太宰府天満宮ウェブサイト	「菅公配流」の参考資料として、太宰府天満宮について紹介しています。

第7章 新たな表現を模索する——俳論・俳文

野ざらし紀行	252	江東区芭蕉記念館	松尾芭蕉について紹介しています。
--------	-----	--------------------------	------------------

第8章 近世の社会と人間——小説

雨月物語	266	「雨月物語」について（「NHK for School」のウェブサイトより）	「雨月物語」の紹介番組です。
------	-----	---	----------------

第9章 本質を探る——評論（二）

玉勝間	274	本居宣長記念館ウェブサイト	本居宣長について紹介しています。
源氏物語玉の小櫛	277		

第10章 文学の生まれる場所——伝承

古事記	280	熱田神宮ウェブサイト	参考資料として、熱田神宮について紹介しています。
		伊勢神宮ウェブサイト	参考資料として、伊勢神宮について紹介しています。

「古典探究」(漢文編)ウェブページのアドレス等の掲載箇所一覧表

申請図書		学習上の参考に供する情報				備考	
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要		
1	8	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	QRコードフロントページ。ウェブコンテンツ一覧。	別紙1	
		二次元コード	自社ページ		https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/238068	「桃花源記」(23ページ)の参考資料として、文化遺産オンラインのウェブサイトより山本梅逸「桃花源図」を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://theme.npm.edu.tw/Academic/ChineseArtDownload.ashx?bid=6092&eid=220	「春夜宴桃李園序」(27ページ)の参考資料として、国立故宮博物院のウェブサイトより清冷枚「春夜宴桃李園」を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www.dazaifutenmangu.or.jp/about/sugawaranomichizane kou	「聞旅雁」(36ページ)の参考資料として、太宰府天満宮のウェブサイトより菅原道真についての解説を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www.city.shiraoka.lg.jp/kanko_bunka_sports/rekishibunkazai/2/3510.html	「即事」(36ページ)の参考資料として、埼玉県白岡市のWebサイトより新井白石の肖像画を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.nhk.or.jp/kokozawa/watch/?das_id=D0022310280_00000#in=0&out=027	「鴻門之会」(38ページ)の参考資料として、NHKウェブサイトより朗読動画を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.nhk.or.jp/kokozawa/watch/?das_id=D0022310281_00000#in=0&out=215	「四面楚歌」(47ページ)の参考資料として、NHKウェブサイトより朗読動画を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		http://www.city.nanyo.yamagata.jp/kankomidokoro/338	「鶴之報恩」(54ページ)の参考資料として、山形県南陽市ウェブサイトより「鶴布山珍蔵寺縁起(鶴の恩返し)」を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/90193	「王昭君」(57ページ)の参考資料として、文化遺産オンラインのウェブサイトより菱田春草「王昭君図」を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/279720	「愛蓮説」(70ページ)の参考資料として、文化遺産オンラインのウェブサイトより狩野探幽「周茂叔愛蓮図」を紹介。	
		二次元コード	自社ページ		https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005150075_00000	「論語」(72ページ)の参考資料として、NHKウェブサイトより解説動画を紹介。	

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
		二次元コード	自社ページ	https://aozora.binb.jp/reader/main.html?cid=43015	「杜子春」(147ページ)の参考資料として、青空文庫ウェブサイトより芥川龍之介「杜子春」(149ページ)の全文を紹介。	
		二次元コード	自社ページ	http://www2.otani.ac.jp/~gikan/6_2situ.html	「無之用」(164ページ)の参考資料として、大谷大学佐藤義寛教授ウェブサイトより『老子八十一化圖』を紹介。	
		二次元コード	自社ページ	https://mag.nhk-book.co.jp/article/39462	「渾沌」(166ページ)の参考資料として、NHK出版ウェブサイトより荘子の解説を紹介。	

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	

(備考)

申請図書中に発行者が管理するウェブページのアドレス(二次元コードその他のこれに代わるものを含む。)を掲載する場合に、本表を以下のとおり作成する。

1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

① 「番号」の欄は、複数のページ等に掲載されたウェブページのアドレス等が同一のウェブページを参照させる場合、一つの番号にまとめて記入する。

② 「ページ」の欄は、ウェブページのアドレス等の申請図書における掲載ページを示す。

③ 「種別」の欄は、URL、二次元コード等の別を示す。

2 「学習上の参考に供する情報」の欄については次のとおりとする。

① 「参照先」の欄には、発行者のページから参照させる学習上の参考に供するページを作成する団体名などを記入する。

② 「URL」の欄には、実際に参照させる学習上の参考に供するページのURLを記載する。なお、参照先が発行者の作成したページである場合は、「自社ページURL」と記入する。

③ 「概要」欄には、参照先における情報の内容を簡潔に記入する。

3 申請図書中のウェブページのアドレス等が参照させるウェブページの画面を印刷した紙面には、対応する本表の番号を紙面右上に付記し、本表に添付すること。

4 学習上の参考に供する情報を示すウェブページが発行者において作成したページの場合、参照先のウェブページの画面を印刷した紙面を、本表に添付すること。

その際、「備考」の欄に「別紙1添付」などと記載し、印刷した紙面右上に「別紙1」などと記入すること。

*各コンテンツ名をクリックしてください。参考資料のウェブページに移動します。

目次	ページ	コンテンツ名	概要
第一部			
第2章 生き方の表明——文章（一）			
桃花源記	21	山本梅逸「桃花源図」(文化遺産オンライン ウェブサイトより)	参考資料として山本梅逸画「桃花源図」の画像を閲覧できます。
春夜宴桃李園序	25	清冷枚「春夜宴桃李園」国立故宮博物院ウェブサイトより)	参考資料として清冷枚画「春夜宴桃李園」の画像を閲覧できます。
第3章 韻文の表現——近体詩			
聞旅雁	34	「道真公のご生涯」(太宰府天満宮ウェブサイトより)	参考資料として筆者・菅原道真の詳細を閲覧できます。
即事	34	「紙本着色新井白石画像」(埼玉県白岡市ウェブサイトより)	参考資料として筆者・新井白石の肖像図版を閲覧できます。
第4章 言動の記録——史伝			
鴻門之会	38	高校講座 古典 第43回「項羽と劉邦 鴻門之会(1)～項羽、大いに怒る～」(NHK for Schoolウェブサイトより)	参考資料として「鴻門之会」についての解説を視聴できます。
四面楚歌	47	高校講座 古典 第47回「項羽と劉邦 四面楚歌(1)～時 利あらず～」(NHK for Schoolウェブサイトより)	参考資料として「四面楚歌」についての解説を視聴できます。
第5章 物語の想像——小説			
鶴之報恩	54	「鶴布山珍藏寺縁起(鶴の恩返し)」(山形県南陽市ウェブサイトより)	参考資料として、最も古い「鶴の恩返し」伝説の著述が残る「鶴布山珍藏寺縁起」を読むことができます。
王昭君	57	高校講座 国語総合ライブラリー 第78回「王昭君」(NHK for Schoolウェブサイトより)	参考資料として「王昭君」についての解説を視聴できます。
第6章 説得の技法——文章（二）			

愛蓮説	70	狩野探幽「周茂叔愛蓮図」(文化遺産オンラインウェブサイトより)	参考資料として狩野探幽画「周茂叔愛蓮図」の画像を閲覧できます。
第7章 読み継がれる思想——儒家			
論語	72	10min.ボックス「漢文(3)論語」(NHK for Schoolウェブサイトより)	参考資料として「論語」についての解説を視聴できます。

【読書案内】漢文の視野を広げよう	84	『春秋戦国の処世術 中国古典に学ぶ「逆転の寓話」』(松本肇)(講談社ブッククラブ ウェブサイトより)	【読書案内】に掲載した書籍の紹介ウェブページです。
		『中国名文選』(興善宏)(岩波書店ウェブサイトより)	【読書案内】に掲載した書籍の紹介ウェブページです。
		『精選漢詩集——生きる喜びの歌』(下定雅弘)(筑摩書房ウェブサイトより)	【読書案内】に掲載した書籍の紹介ウェブページです。
		『現代語訳 史記』(司馬遷／大木康訳・解説)(筑摩書房ウェブサイトより)	【読書案内】に掲載した書籍の紹介ウェブページです。
		『知の古典は誘惑する』(小島毅編著)(岩波書店ウェブサイトより)	【読書案内】に掲載した書籍の紹介ウェブページです。
		『詩人・菅原道真 うつしの美学』(大岡信)(岩波書店ウェブサイトより)	【読書案内】に掲載した書籍の紹介ウェブページです。
		『漢語の謎——日本語と中国語のあいだ』(荒川清秀)(筑摩書房ウェブサイトより)	【読書案内】に掲載した書籍の紹介ウェブページです。
第二部			
第2章 主張と文体——文章 (一)			
五柳先生伝	100	横山大観「五柳先生」(文化遺産オンライン ウェブサイトより)	参考資料として横山大観画「五柳先生」の画像を閲覧できます。
第7章 思想の展開——諸子			
無之用	160	100分de名著 名著22「老子」(NHK for Schoolウェブサイトより)	参考資料として「老子」についての解説を閲覧できます。
渾沌	162	100分de名著 名著43「莊子」(NHK for Schoolウェブサイトより)	参考資料として「莊子」についての解説を閲覧できます。